

補足資料

令和3年度

第1回森林環境保全基金運営委員会

～ 森林環境税活用事業の概要補足資料 ～

R 2 - 1 (R 3 - 1)

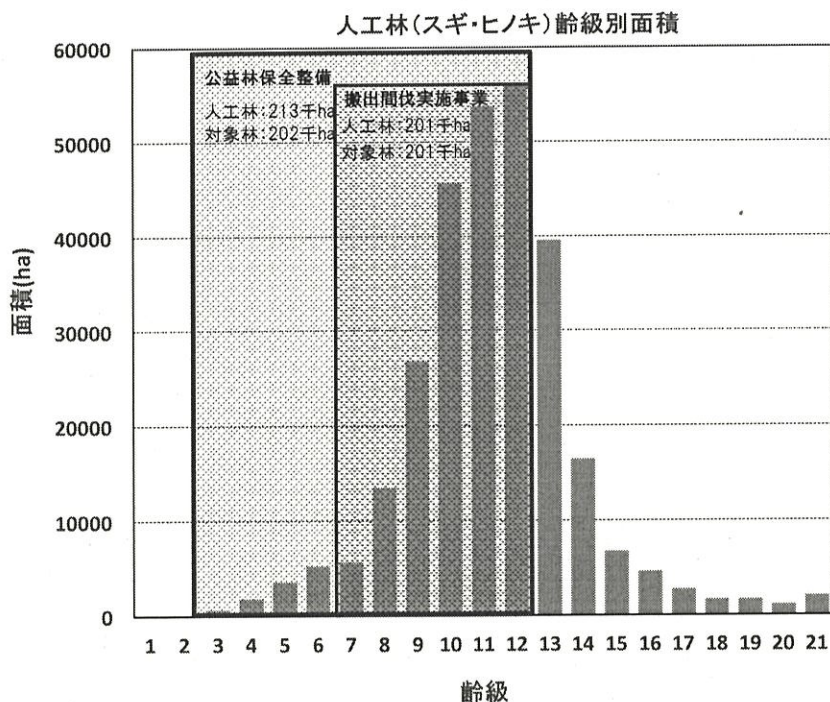
公益林保全整備事業

(木材増産推進課)

緊急間伐総合支援事業

【目的】

森林の公益的機能を高めるとともに、森林資源の質的充実を計画的に推進するため、国庫補助事業を補完し、手入れの遅れている人工林を対象に間伐等を支援する。



【内容】

1. 公益林保全整備事業 (財源: 森林環境税)
保安林又は水源かん養機能等公益性が高い人工林の保育間伐(3~12齢級)を推進することで、
荒廃森林の防止し、森林の持つ公益的機能の効果的な発揮を図る。
2. 森林整備支援事業 (財源: 一般財源)
搬出間伐(7~12齢級)と作業道整備を一体的計画に基づき実施する。

事業区分	事業内容
1. 公益林保全整備事業	23,000千円 (前年度23,000千円) ・保安林又は森林の公益機能が高い3~12齢級の森林 ・80,000円/ha定額
2. 森林整備支援事業	45,000千円 (前年度46,000千円)
①搬出間伐実施事業	20,500千円 ・造林事業の対象にならない(集約化が困難)な7~12齢級の森林 ・183,000円/ha定額(間伐率30%) ・122,000円/ha定額(間伐率20%)小規模林業推進協議会会員に限る
②作業道整備事業	24,500千円 ・開設 500円/m~1,500円/m(幅員に応じて) ・路面整備、復旧等

【補助先】 市町村

【事業主体】 森林組合、森林所有者(自伐林家等を含む)、林業事業者等

R 2 - 2 (R 3 - 2)

みどりの環境整備支援事業

(木材増産推進課)



森林環境税を活用した保育施業等への支援

【みどりの環境整備支援事業費補助金 R3 (入) 29,106千円】

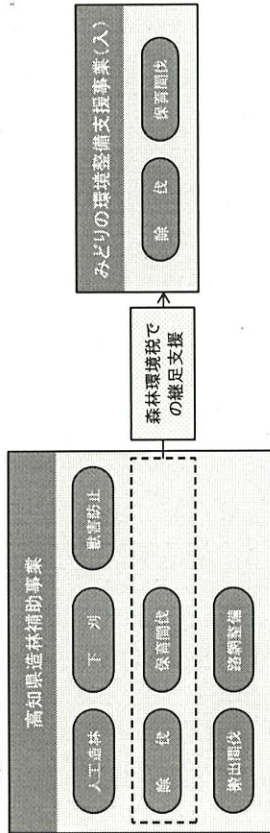
1. 事業目的

- ◆ CO₂吸収効果の高い人工林や、自助努力による森林整備が期待できない森林の整備を促進すること、荒廃森林の発生を防止する。
また、健全な森林の維持増進を図ることで、森林の多面的機能の高度発揮を促進する。

2. 支援概要

- ◆ 支援対象 森林所有者、施業受託者、森林組合、市町村、森林整備法人
- ◆ 対象施業 造林事業で採択された11～45年生の人工林での除伐、保育間伐
- ◆ 補助率等
 - 定額 37,000円(除伐 11～25年生) 不用木の除去、不良木の淘汰
 - 定額 41,000円(保育間伐A 11～35年生) 不良木の淘汰
 - 定額 37,000円(保育間伐B 11～45年生) 不良木の淘汰
(伐採木の平均胸高直径18センチメートル未満)
 - 定額 28,000円(保育間伐C 11～45年生) 不良木の淘汰(環境林整備事業)
 - 定額 27,000円(保育間伐D 11～45年生) 不良木の淘汰
 - 定額 39,000円(保育間伐D 11～45年生・林内整理あり) 不良木の淘汰

— 支援のイメージ —

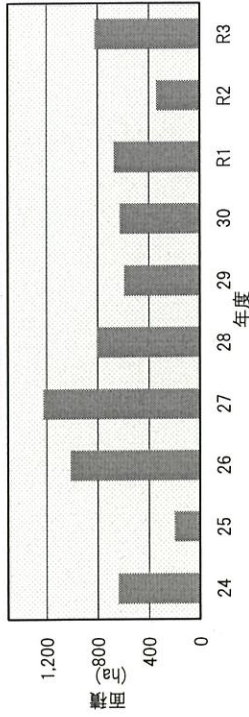


— 補助率のイメージ —

標榜事業費 (造林標準単価へ適業量)		受託手数料等経費
造林補助金 (68%)	50%	自己負担分
	50%	
森林環境税支援分		

3. 支援実績

年度別実績 (R3は計画の数値)

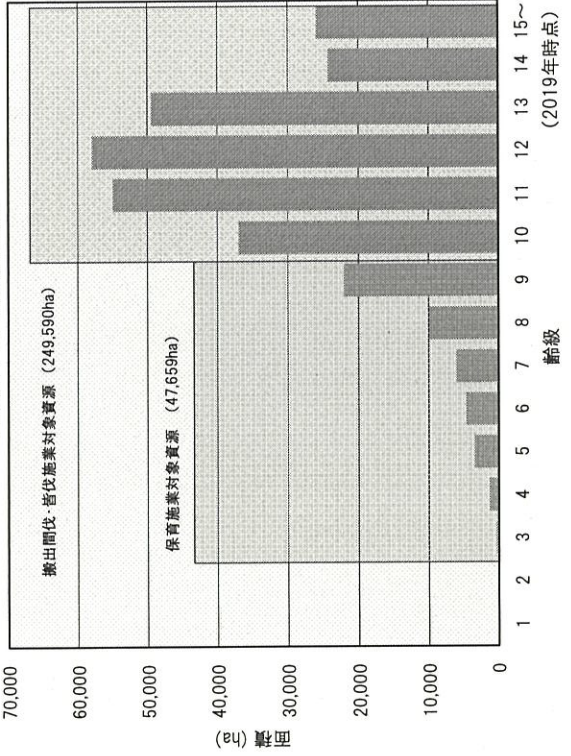


年度	面積 (ha)												
	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3			
除伐	336	82	133	152	40	43	75	59	20	50			
保育間伐A	305	117	219	469	270	235	279	282	209	286			
保育間伐B	—	—	—	81	77	30	42	114	81	100			
保育間伐C	—	—	593	545	421	284	279	220	22	189			
林内整理	—	—	—	—	—	—	—	—	10	80			
林内整理あり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
合計	640	199	1,014	1,226	808	592	625	675	341	821			

4. 資源構成

- ◆ 人工林構成面積のうち、保育施業対象と考えられる3～9齢級の人工林分が約20%を占めています。森林の多面的機能を保持し、健全な森づくりを推進するためには、適正な保育施業が必要です。そこで、「森林環境税」を活用して健全な森林資源の保続を図ります。

人工林(スギ・ヒノキ)齢級別面積



R 2 - 3 (R 3 - 3)

造林事業 (環境林整備事業)

(木材増産推進課)

造林事業（環境林整備事業）

<事業内容>

森林所有者の自助努力によっては適正な整備が期待できない条件不利地等において、森林の多面的機能を発揮させる森林整備を行う

○国庫補助事業の制度改正

<制度改正の背景>

- ・戦後造成された人工林の5割が主伐期を迎えている
- ・森林資源を計画的に造成し森林の公益的機能を維持・増進させるためには、再造林を確実に行っていくことが重要

森林環境保全整備事業

└ 森林環境保全直接支援事業

└ 環境林整備事業（H30年度廃止）※R元年度への繰越予算あり

事業内容：保育間伐C

変更前

森林環境保全整備事業

└ 森林環境保全直接支援事業

└ 特定森林再生事業（R元年度創設）

事業内容：人工造林、下刈りなど

変更後

○環境林整備事業の内容と実施状況

- ・対象林齢：11～60年生
- ・事業内容：保育間伐C（不用木の除去、不良木の淘汰）
- ・事業規模：0.1ha以上/1施行地
- ・事業主体：森林組合等
- ・補助率等：県が定める標準単価の72%（国54%、県18%）
 - ・保安林又は市町村森林整備計画に規定する公益的機能が高い森林
 - ・市町村、森林所有者、事業主体で協定を締結

■これまでの実績

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2
面積	699	592	418	512	317	102

(単位:ha)

○環境林整備事業の必要性

多くの人工林を抱える本県では、森林の多面的機能を発揮させることが必要な条件不利地等において保育間伐が必要な森林は依然として存在している

森林環境保全基金を活用し、これまでの内容・仕組みを継続 ⇒ 森林の多面的機能を発揮

[補助率等のイメージ]

H30年度（R元年度への繰越）まで

みどりの環境整備支援事業
※森林環境保全基金

造林事業
(環境林整備事業)

23千円/ha

県費
義務負担 18%

国費 54%

計72%

標準単価
約141千円/ha

11～45年生 46～60年生

R2年度から

みどりの環境整備支援事業
※森林環境保全基金

造林事業
(環境林整備事業)

23千円/ha

森林環境保全基金
72%

標準単価
約141千円/ha

11～45年生 46～60年生

R 2 - 4 (R 3 - 4)

森林・山村多面的機能發揮対策
支援事業

(林業環境政策課)

令和3年度

「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」のご紹介

里山林は、居住地近くに広がり、薪炭用材の伐採、落葉の採取等を通じて地域住民に継続的に利用されることにより、維持・管理されてきた森林です。

しかし、このような里山林は、昭和30年代の石油・ガスなどの化石燃料の普及、化学肥料の普及等により地域住民との関係が希薄になり、侵入竹などによる荒廃が進んでいます。

そこで、林野庁では、地域住民、森林所有者等が協力して行う、里山林の保安全管理や資源を利用するための活動に対して支援を行います。

現場のニーズ

荒れている里山林の手入れや景観の維持・保全活動を行いたい



高密度に侵入したモウソウチクや笹などを除去したい



薪やシイタケ原木など地域の資源を活用して山村を活性化したい



森林整備のための歩道を作りたい
鳥獣害防止柵を設置したい



地域外の人と森林整備を行っていききたい



活動メニュー

【地域環境保全タイプ】 (里山林保全活動)

- ・里山林景観を維持するための活動
- ・風倒木や枯損木の除去活動等

【地域環境保全タイプ】 (侵入竹除去、竹林整備活動)

- ・侵入竹の伐採・除去活動
- ・荒廃竹林の整備活動等

【森林資源利用タイプ】

- ・集落周辺の広葉樹等の伐採、搬出活動等

【森林機能強化タイプ】

- ・歩道・作業道の作設・改修
- ・鳥獣害防止柵の設置・補修

【関係人口創出・維持タイプ】

- ・地域外関係者との調整
- ・受け入れ環境の整備等

メインメニュー

サイドメニュー

サイドメニューはメインメニューと組み合わせて実施

○森林・山村多面的機能発揮対策交付金の対象活動と支援内容

1 活動への支援

里山林の保全管理や資源を利用するための以下のような活動に対して、定額で支援を行います。（国の交付単価は年度当たりのものです。）

〔 交付金の使途：人件費、燃油代、傷害保険、賃借料、ヘルメット・手袋・なた・のこぎり等の消耗品、書籍、委託料、印刷費等 〕

・活動推進費（3か年の活動計画の具体化に対する支援）

（国の交付単価：初年度のみ。（最大）112,500円）

現地の林況調査、活動計画の実施のための話し合い、研修等



メインメニュー

・地域環境保全タイプのうち「里山林保全活動」

（国の交付単価（最大）：初年度120,000円、2年目115,000円、3年目110,000円/ha）

雑草木の刈払い・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、地拵え、植栽、播種、施肥、不要萌芽の除去、緩衝帯・防火帯作設のための樹木の伐採・搬出、風倒木・枯損木の除去・集積・処理、土留め・鳥獣害防止柵等の設置、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング等



・地域環境保全タイプのうち「侵入竹除去、竹林整備活動」

（国の交付単価（最大）：初年度285,000円、2年目265,000円、3年目245,000円/ha）

竹・雑草木の伐採・搬出・処理・利用、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング等



・森林資源利用タイプ

（国の交付単価（最大）：初年度120,000円、2年目115,000円、3年目110,000円/ha）

雑草木の刈払い・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、木質バイオマス・炭焼き・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工、特用林産物の植付・播種・施肥・採集、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング等



サイドメニュー

・森林機能強化タイプ

（国の交付単価：最大800円/m）

歩道や作業道等の作設・改修、鳥獣害防止柵の設置・補修、及びこれらの実施前後に必要な森林調査・見回り



・関係人口創出・維持タイプ

（国の交付単価：最大50,000円/年）

地域外関係者との活動内容の調整、地域外関係者受け入れのための環境整備、これらの活動に必要な森林調査・見回り等

<※見回りのみの活動では支援対象となりません。他の活動と一緒に取り組んで下さい。>

2 資機材への支援

1のような活動を実施するために必要な機材及び資材の購入・設置に対して、必要額の1/2以内（一部の資機材については1/3以内）を支援します。

・ 1/2以内を支援する資機材

刈払機、チェーンソー、丸鋸、ウインチ、軽架線、チップパー、わな、苗木、電気柵・土留め柵等構築物の資材、あずまや（休憩や作業を行うための簡易建屋）、資機材保管庫、移動式の簡易なトイレ、携帯型GPS機器、設置費等（汎用性のある物品等は対象外）

・ 1/3以内を支援する資機材

林内作業車、薪割り機、薪ストーブ、炭焼き小屋

○支援を受けるには？

森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した取組を行うために、以下に示す活動組織を設立する必要があります。

活動組織

構成員：

活動組織の構成員は、地域住民、森林所有者等地域の実情に応じた方（3名以上）で構成してください。

地域の自治会、NPO法人等が単独で実施、又は1構成員となることも可能です。

なお、活動組織としての規約の作成や区分経理が必要となります。

対象森林：

本交付金の対象となる森林は、活動を行う時点において、森林経営計画が策定されていない0.1ha以上の森林です。

活動区域：

地域住民、森林所有者等による里山林の保全、利用を支援することが本事業の目的であり、原則として活動組織の事務所は、対象森林と同一都道府県内にあることが必要です。

活動計画書：

活動組織名、所在地、取組の背景及び概要、3年間の活動計画（原則として過去に策定した活動計画書に位置付けられていない森林とする。）、年度別の取組内容、計画図、委託内容等を記載した計画書を作成する必要があります。（計画書の作成は交付金の支援対象とはなりません。）

申請

都道府県単位に設立されている地域協議会に対して、申込みを行います。

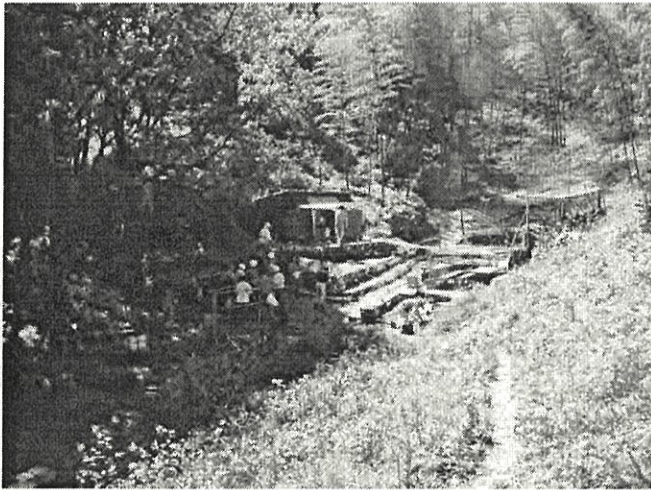
（地域協議会は、審査にあたって、活動を計画している市町村から、活動対象森林や活動内容の有効性等について、意見を聴取します。）

地域協議会の連絡先は、林野庁ホームページでもご確認いただけます。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/tamenteki.html>

○その他支援を受ける場合の留意点等

- 1活動組織当たり、年度ごとに500万円（国からの交付額）を上限として支援（同じ場所では最大3年間支援）します。
- 人工林でも活用できます。
- 地域の活動組織が持続的に里山林の整備や利用活動を実施することを基本として、森林整備の作業で危険を伴う作業や専門的な技術が必要な作業等については、地域の森林組合などに作業の一部を委託することができます。
- 採択に当たっては、会費の徴収等により財政基盤が確保されており、安全研修を計画しているなどの一定の安全技術の向上が期待できる組織を対象とします。
- また、活動計画書に活動の目標と活動結果のモニタリング調査方法が記載されているとともに、モニタリング調査を実施する必要があります。



詳細については、林野庁森林利用課山村振興・緑化推進室
(☎03-3502-0048)に御相談ください。

林野庁ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/tamenteki.html>

令和2年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金(実績)

令和2年度	専務所	施業地	計画		里山保全			侵入竹・竹林			資源利用			機能強化			合計	附帯等 延床 面積	未整備
			団体数	金額	団体数	面積	金額	団体数	面積	金額	団体数	面積	金額	団体数	延長	金額			
	南州市	南州市	11	194,329	28	147.8	2,947,137	23	33.6	1,590,750	13	38.8	775,819	5	4,589	458,900	5,966,935	130.5	140.4
	香美市	南州市		0		0	0		11.6	551,000		0	0		0	0	551,000	11.6	0
	大豊町	大豊町		0		0	154,000		2.3	109,250		0	0		0	0	263,250	2.3	0
	大豊町	大豊町		0		0	40,000		0	0		1	20,000		0	0	60,000	1	2
	大豊町	大豊町		0		0	156,000		2.9	137,750		0.4	8,000		0	0	301,750	9.1	5.8
	本山市	大豊町		0		0	48,000		0.7	33,250		0	0		0	0	81,250	0.7	1
	土佐町	本山市		0		0	18,563		0.1	4,750		0	0		0	0	23,313	1.3	1.2
	土佐町	土佐町		0		0	36,000		0	0		0	0		0	0	36,000	0	0
	土佐町	土佐町		0		0	8,000		3.1	147,250		1.6	32,000		0	0	187,250	5.1	3.8
	土佐町	土佐町		18,750		3.8	76,000		1.2	57,000		0	0		0	0	151,750	1.2	5
	土佐町	土佐町		18,750		0.1	2,000		0.3	9,000		0	0		0	0	151,750	1.2	5
	高知市	高知市		0		0	164,000		0.2	9,500		0	0		93	9,900	39,050	0.3	0.4
	高知市	高知市		0		0	0		0.2	9,500		0	0		0	0	173,500	0.2	0
	高知市	高知市		0		0	60,000		2.1	99,750		0	0		0	0	99,750	2.1	0
	高知市	高知市		0		0	3	60,000	1.7	80,750		0	0		0	0	140,750	3	0
	高知市	高知市		0		0	0.6	12,000	0.6	28,500		0	0		0	0	40,500	0.6	0
	高知市	いの町		0		0	0	0	0.3	14,250		0	0		0	0	14,250	0.3	0
	高知市	計		0		0	12,000		0.9	42,750		0	0		0	0	54,750	0.9	0
	高知市	高知市		18,750		1.4	28,000		0	0		0	0		0	0	46,750	0	0
	高知市	高知市		18,750		0	20,000		0.3	14,250		0	0		0	0	53,000	0.3	1.3
	日高村	香南市		0		0	0		0.2	9,500		0	0		0	0	9,500	0.2	0.2
	佐川町	佐川町		18,750		6.8	136,000		0.1	4,750		0	0		0	0	154,750	6.8	6.8
	佐川町	佐川町		18,750		1	20,000		0.8	15,819		0.8	15,819		0	0	43,500	0.1	1.1
	佐川町	佐川町		0		0	16,000		0	0		0	0		0	0	16,000	0	0
	佐川町	佐川町		0		0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0
	仁淀川町	仁淀川町		11,842		0	0		0.5	23,750		0.9	18,000		0	0	41,750	0.9	0
	中土佐町	中土佐町		0		0	160,000		0.8	38,000		0.6	12,000		0	0	210,000	9.4	4.7
	中土佐町	中土佐町		0		0	25.8	516,000	0	0		1.2	24,000		0	0	308,000	15.4	15.4
	中土佐町	中土佐町		0		0	0		1.9	90,250		0	0		0	0	118,250	2.1	2.6
	中土佐町	中土佐町		0		0	0		0.5	23,750		0.9	18,000		0	0	41,750	0.9	0
	四万十町	四万十町		0		0	0		0.8	38,000		0.6	12,000		0	0	50,000	0.6	0.6
	四万十町	四万十町		0		0	15.4	308,000	0	0		0	0		0	0	308,000	15.4	15.4
	四万十町	四万十町		0		0	1.4	28,000	1.9	90,250		0	0		0	0	118,250	2.1	2.6
	四万十町	四万十町		0		0	3.8	76,000	0	0		0	0		0	0	76,000	0.5	3.8
	四万十町	四万十町		18,750		0.6	12,000		0	0		0	0		1,026	102,600	133,350	0	0.6
	黒潮町	黒潮町		0		20.4	408,000		0.6	28,500		0	0		600	60,000	496,500	21	20.5
	黒潮町	黒潮町		0		0.2	4,000		0	0		0	0		0	0	4,000	0	0
	土佐清水市	土佐清水市		18,750		14.7	290,574		0	0		0	0		2,500	250,000	559,324	14.7	14.7
	大月町	大月町		0		0	0		0	0		5.1	102,000		0	0	102,000	5.1	0
	宿毛市	宿毛市		0		0	0		0	0		1	20,000		0	0	20,000	1	1
	宿毛市	宿毛市		0		0	0		0	0		1.9	38,000		370	37,000	75,000	1.9	1.9
	土佐町	土佐町		0		0	0		0	0		0.9	18,000		0	0	18,000	0.9	0
	四万十市	四万十市		18,750		2.2	44,000		0.1	4,750		0	0		0	0	48,750	0.6	2.3
	四万十市	四万十市		13,737		0	0		0.2	9,500		0	0		0	0	23,237	0.2	0.2
	三原村	三原村		0		0	0		1	47,500		0	0		0	0	47,500	1	1
	三原村	三原村		0		5.3	106,000		0.8	38,000		0	0		0	0	144,000	0.8	1

R 2 - 5 - 1 (R 3 - 5 - 1)

指定管理鳥獸捕獲等事業委託料

(鳥獸対策課)

令和3年度 指定管理鳥獣捕獲等事業について

高知県鳥獣対策課

目的・背景(環境省)

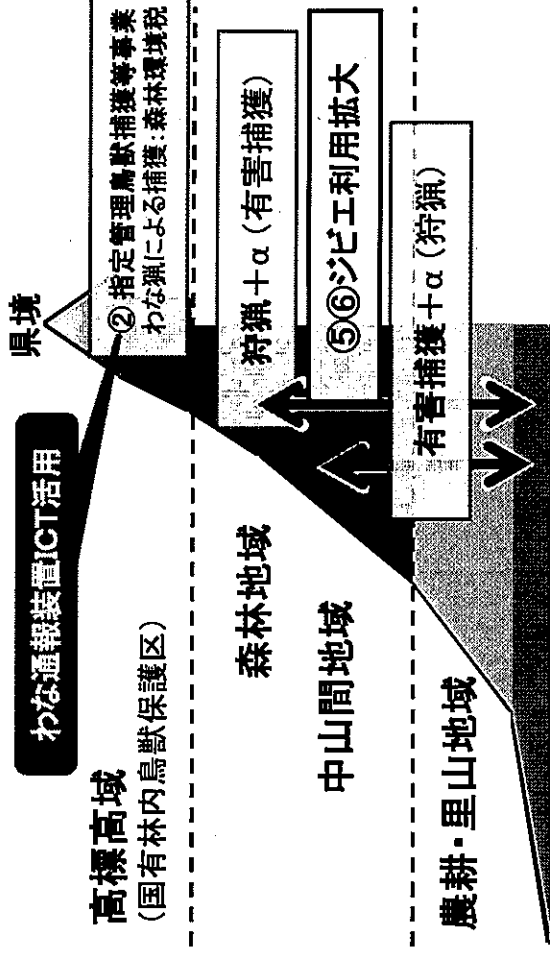
- ニホンジカ及びイノシシによる農林水産被害及び自然生態系への影響が深刻化。
- 環境省と農林水産省は、2013年に二ホンジカ・イノシシの個体数を10年後の2023年度までに半減させる「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」を公表。捕獲数の大幅な拡大を図るため、鳥獣法の改正により創設した指定管理鳥獣捕獲等事業を交付金により支援。
- 今後、二ホンジカは半減目標の達成に向けて、なお一層の捕獲を行う必要があるほか、高密度地域が広範囲に及んでおり、更なる捕獲の強化が必要であることから、従来の都道府県毎の捕獲等の取り組みに加えて、複数の都道府県が参加する広域協議会を設置し、都道府県域を越えた広域的な調査や捕獲等を進め、シカの半減目標達成のための取組を促進する。
- また、近年特に狩猟者による捕獲数が伸び悩んでいることから、狩猟者による捕獲を緊急的に支援して、狩猟による集中的な捕獲を行うとともに、速やかに捕獲個体を加工処理場に運搬して、捕獲個体の利活用を促進する。

事業概要(高知県)

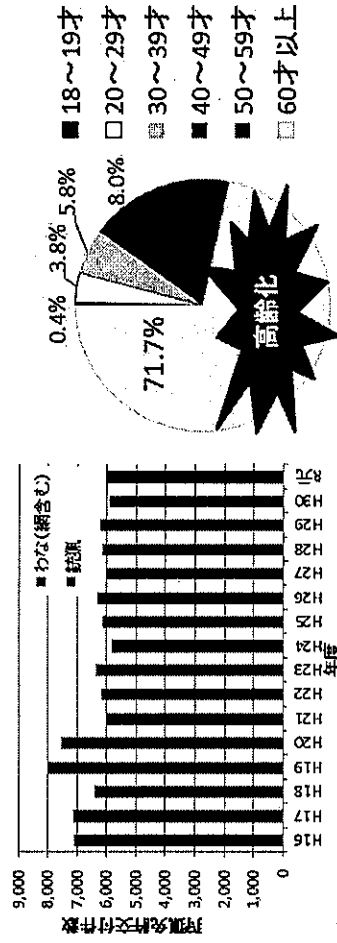
本県で実施する事業	事業内容
① 実施計画策定等事業 (指定管理鳥獣捕獲等事業計画策定調査委託料)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ②事業実施計画策定のための調査 ・ ②事業を評価するための事前・事後調査等 ・ 事業検討会の開催 (委託先: 専門機関等)
② 指定管理鳥獣捕獲等事業 (指定管理鳥獣捕獲等事業委託料)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国有林内鳥獣保護区でのわな罠によるシカ捕獲 (委託先: 認定鳥獣捕獲等事業者等)
③ 効果的捕獲促進事業	未実施
④ 認定鳥獣捕獲等事業者等の育成	未実施
⑤ ジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成 (ジビエ利用拡大狩猟者講習会委託料)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全・安心なジビエの流通を図るため、狩猟者を対象に捕獲方法や衛生管理等の講習会を実施 (委託先: 専門機関等)
⑥ ジビエ利用拡大のための狩猟捕獲支援 (ジビエ利用拡大狩猟捕獲支援委託料)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狩猟で捕獲したシカ・イノシシを指定した処理施設に持ち込んだ際の報償金の支払いや、残差の産業廃棄物としての処理費用を支援 (委託先: 処理加工施設)

(赤字)は県事業名

シカ捕獲事業の住み分け



高知県の現状



- ・ R元狩猟者(狩猟免許交付件数) → 5,994件(うち、わな罠 3,664件)
- ・ R元シカ捕獲数(狩猟+有害等) → 19,414頭(年間捕獲目標3万頭の65%)
- ・ R元狩猟によるシカ捕獲 6,690頭 → わな罠が87%(5,831頭)
- ・ シカのジビエへの利用率 → わな罠が2%程度

指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務報告書
(事業実施場所：八面山・つづら山鳥獣保護区)

1 委託先

一般社団法人 高知県猟友会

2 契約年月日

令和2年9月17日

3 実施場所

①幡多区域：八面山鳥獣保護区（四万十市西土佐奥屋内）

②高岡区域：つづら山鳥獣保護区（四万十町大正）

4 捕獲期間

①幡多区域：令和2年10月25日（わな設置）～ 令和3年3月10日（わな撤収）

②高岡区域：令和2年10月25日（わな設置）～ 令和3年2月27日（わな撤収）

5 実績

表1 八面山鳥獣保護区でのワナの設置及びシカ捕獲実績

年月	八面山 くくりワナ (29基)						捕獲計(頭)			備考
	八面山 頂上付近		2林班 林道沿		3林班 一円					
	12基		7基		10基		オス	メス	計	
	オス	メス	オス	メス	オス	メス				
令和2年10月					1		0	1	1	10/25 開始
11月	1		1	1	1		3	1	4	
12月	1	1		1	1	1	2	3	5	
令和3年1月					1		1	0	1	
2月		1					0	1	1	
3月							0	0	0	3/10 終了
計(頭)	2	2	1	2	3	2	6	6	12	

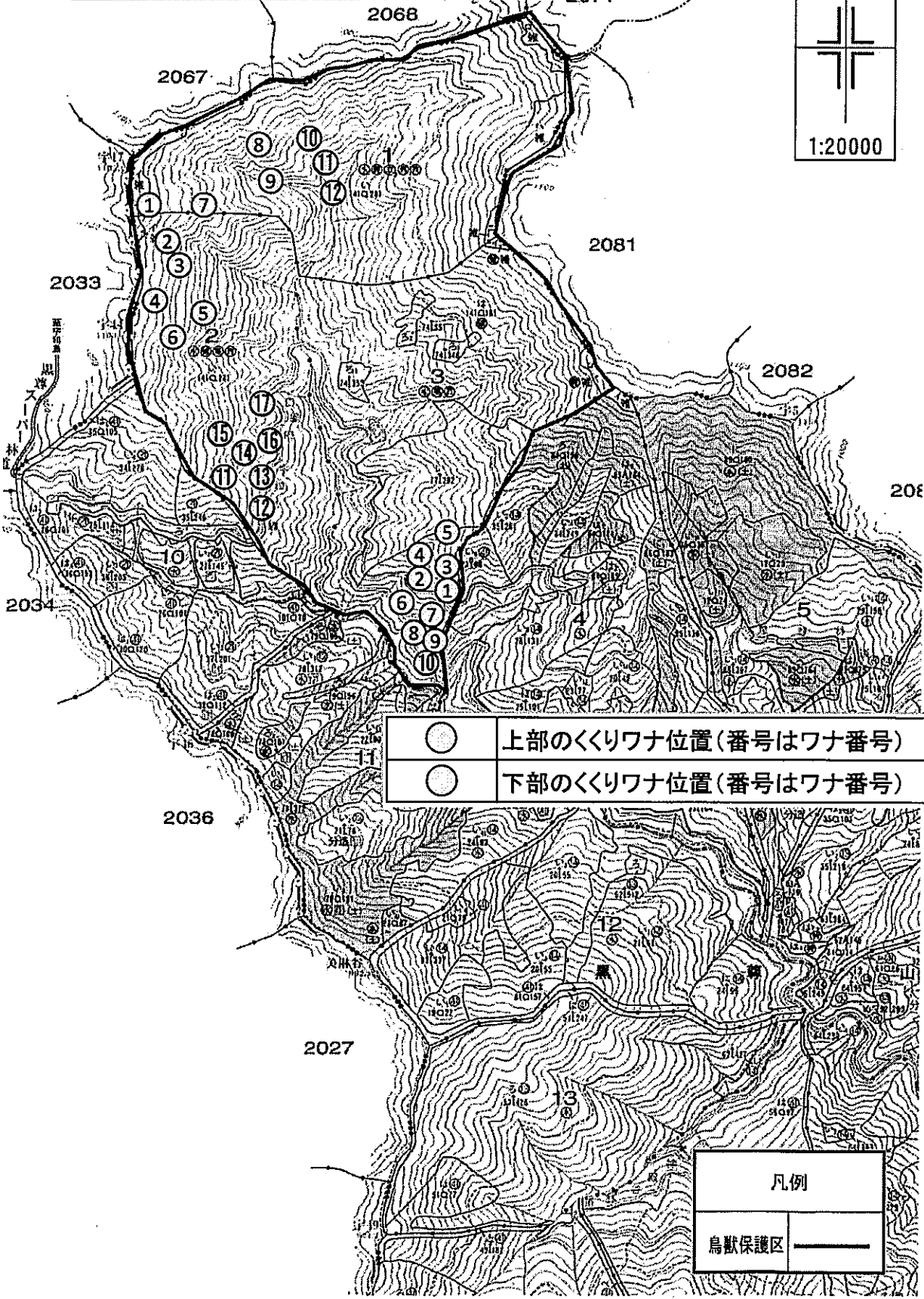
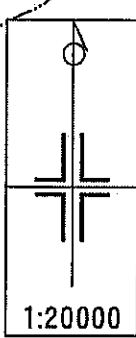
注：ワナの設置位置は、別添図を参照。

表2 つづら山鳥獣保護区でのワナの設置及びシカ捕獲実績

年月	つづら山 くくりワナ (25基)				捕獲計(頭)			備考
	南側-B		北側-A		オス	メス	計	
	9基		16基					
	オス	メス	オス	メス	オス	メス	計	
令和2年10月			1	1	1	1	2	10/25 開始
11月		4	1	7	1	11	12	
12月	2	2	2	5	4	7	11	
令和3年1月		1	1	3	1	4	5	
2月				2	0	2	3	2/27 終了
計(頭)	2	7	5	18	7	25	33	

注：ワナの設置位置は、別添図を参照。

八面山鳥獣保護区
 高知県四万十市西土佐奥屋内 黒尊山国有林1林班外



○	上部のくくりワナ位置(番号はワナ番号)
○	下部のくくりワナ位置(番号はワナ番号)

凡例	
鳥獣保護区	——

R 2 - 5 - 2 (R 3 - 5 - 2)

シカ個体数調査委託料

(鳥獣対策課)

高知県内におけるニホンジカの生息状況調査について

公開日 2021年04月28日

ニホンジカの生息状況調査

高知県では、令和3年度に高知県内におけるニホンジカの自然増加率や自然個体数などを推定するために、令和2年度に糞塊法調査（70ルート）及び糞粒法調査（110地点）を実施し、推定の基となるデータの取得を行いました。前回までの調査データと今回の調査データを比較することで、県内全体のおおよその生息状況の変動を確認することができました。

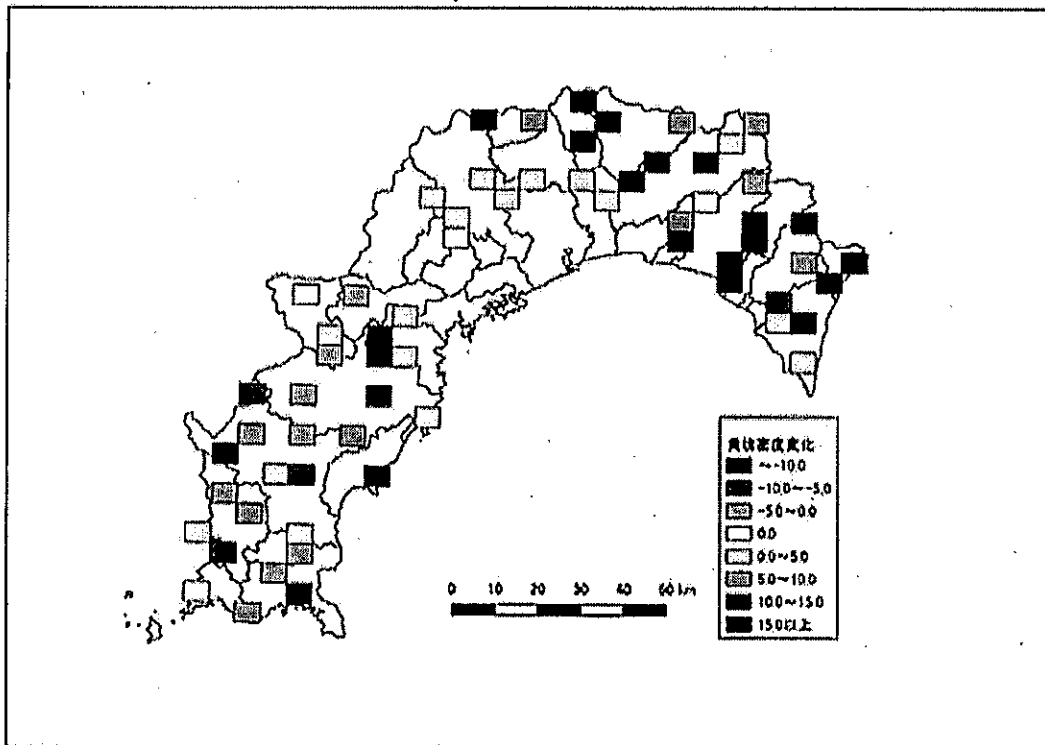


図1 平成26年度調査と令和2年度調査間での糞塊密度の増減状況

今回の糞塊法調査の結果から、県内東部の多くのルートではニホンジカの糞塊密度の上昇が、県内西部の多くのルートではニホンジカの糞塊密度の低下が確認されました。

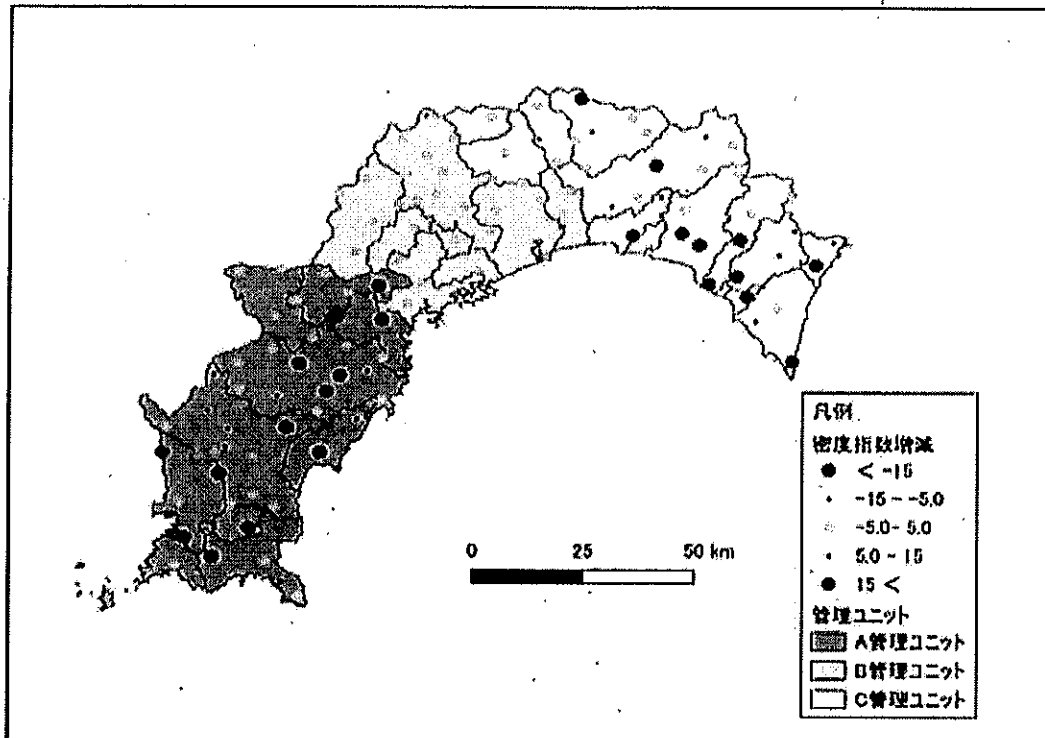


図2 平成26年度調査と令和2年度調査間での糞粒密度指数の増減

今回の糞粒法調査の結果から、平成26年度調査で糞粒が確認されなかった42地点のうち、今年度調査で新たに糞粒が確認されたのは、20地点でした。一方、平成26年度調査で糞粒が確認されていたが、今年度調査で糞粒が確認されなかった地点は6地点であったことから、平成26年度調査と比較して、糞粒が確認された地点は14地点増加しました。このことから、ニホンジカの生息分布範囲は拡大している可能性が高いと考えられました。

連絡先

高知県 中山間振興・交通部 鳥獣対策課

住所： 〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号（本庁舎3階）

電話： 088-823-9039

ファックス： 088-823-9258

メール： 070201@ken.pref.kochi.lg.jp

戻る

現状と問題点

①捕獲数の減少要因が不明

これまでの捕獲強化の施策により、捕獲数は増加し、農林業被害額はピーク時の約3割まで減少。しかし、近年捕獲数が低迷。その原因については、
 a)シカの生息数が減少して捕獲数が減少しているのか
 b)シカの生息数は変わらず(又は増加しているにもかかわらず)スマートディアの増加により捕獲が困難になってきているのかが不明。

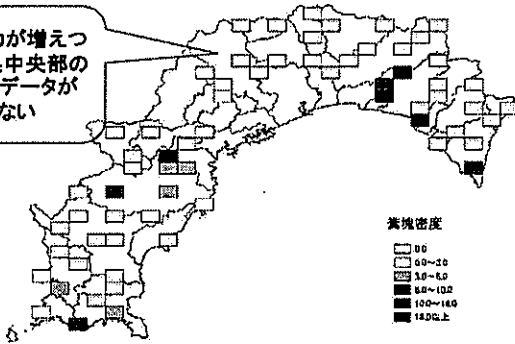
⇒最新の生息数推定に基づく捕獲対策が必要

②糞塊・糞粒法調査データが古い

H28年度推定はH27年度までの各種データを用いた。R1年度推定は、主に28年度に実施した糞塊法調査データ+H28~H30年度の捕獲実績や出猟カレンダーによるSPUE(目撃効率)などによる。糞粒法調査は26年度以降実施していない。

⇒各種最新のデータを用いた推定が必要

最近シカが増えつつある県中央部の糞塊法データが少ない



②メッシュごとの糞塊密度調査(H28年度実施)

③糞塊法と糞粒法との違い

- 糞塊法調査によるベイズ推定は、県内のA・B・C管理ユニットなどの広い範囲の推計・将来予測に便利。
- 糞粒法調査は、狭い範囲(1km²程度)のその時点の生息数・密度指標(頭/km²)を示し、地点数が多いことで、県内のシカ分布の範囲(広がり・その地点の密度)をみるのに有効。

④科学的根拠に基づく順応管理が重要

シカの個体数(生息数)を推定し、科学的根拠に基づき順応的管理を行うことは、捕獲数の設定や捕獲のコントロールのために欠かすことのできない重要なモニタリングである。本県では、シカの第二種特定鳥獣管理計画(第4期H29~R3年度の5年間)を策定し、個体数管理を進めているが、モニタリングは最低でも2~3年のスパンで行うべきであり、個体数の推定値は県民の大きな関心事でもある。

早期に適正頭数に誘導するには、最新の個体数を把握し効果的な捕獲計画に基づき効率的に捕獲事業を進めることが大切である。

⇒施策の評価とフィードバックによるPDCAサイクルを実施するため定期的な個体数推定の実施が必要

④ベイズ推定による個体数推定の実施スパン

H25年度	第3期特定計画(H24~28年度)の順応管理のための中間推定
H28年度	第4期特定計画(H29~R3年度)策定のための推定
R1年度	第4期特定計画(H29~R3年度)の順応管理のための中間推定
R2年度	第5期特定計画(R4~R8年度)策定のための現地調査(今回)

○特定鳥獣保護管理計画検討会における意見

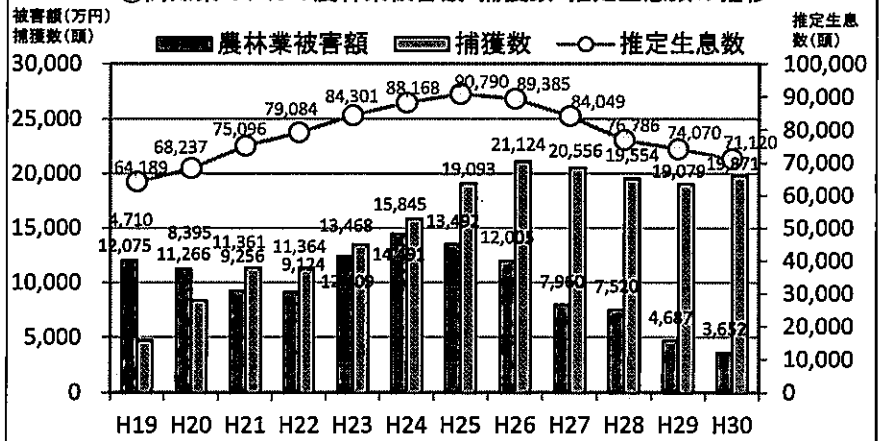
毎年とは言わないが最低2年に1度くらいはモニタリングを実施すること。(森林総研:奥村委員長)

○平成29年度委員監査における意見

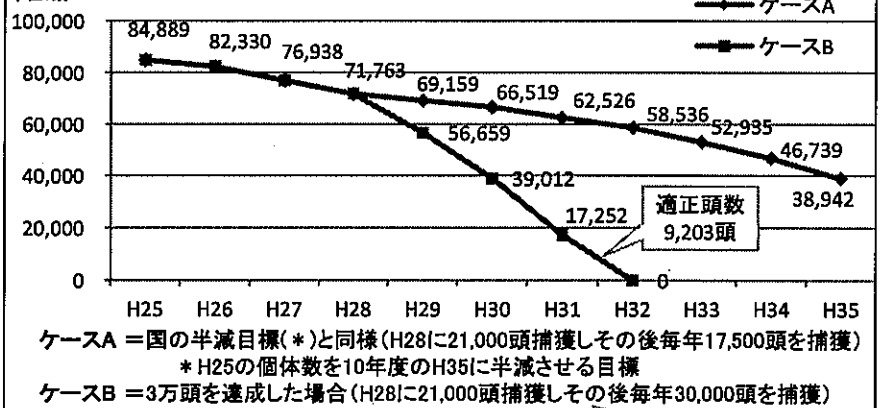
目標達成には、生息数の把握が重要。そのための調査等はお金をかけても行ってもらいたい。(公明党:池脇委員)

早期に適正頭数へ誘導するための将来予測が重要

①高知県のシカの農林業被害額・捕獲数・推定生息数の推移



③現特定計画での高知県のシカの生息数のシミュレーション



最新の生息数推定と将来予測に基づく適正な捕獲計画は、予算の効率的な執行に不可欠

シカ個体数調査業務委託料(予算額15,715千円)

【委託内容】

○R3にベイズ推定を行うための現地調査を実施

- ①県内110ヶ所での糞粒法調査
- ②県内70ルートでの糞塊法調査

*委託先:野生動物の調査等を行う専門機関



○最新の生息数推定と将来予測を基にした捕獲計画の策定

- ①第二種特定鳥獣(ニホンジカ)管理計画の変更
⇒早期に適正頭数(9,203頭)へと誘導する施策の検討
- ②生息数推定に基づく市町村ごとの捕獲目標の設定が可能
⇒県と市町村のより一層の連携協力による捕獲目標の達成

○ベイズ推定とは……

生息数と相関がある複数の指標と捕獲数の経年変化を用いて、自然増加率など既知の生態情報を活用しながら確率論的な計算を行い個体数推定を行う手法。水産資源管理の分野で広く活用されており、H25年度から国がシカの推定に採用。

具体的には、捕獲数と生息密度指標の時間的な変化を記述したモデル(Harvest-based model)を基本とした階層ベイズモデルを構築し、マルコフ連鎖モンテカルロ法(※)によって推定を行う。

※MCMC法は、最初の100万回はサンプリングせず、次の2,000万回のうち2,000回に1回サンプリングし、計1万回のサンプリングを行う方法

捕獲計画に基づく施策の実施

予算の適正な執行

早期の適正頭数(9,203頭)への誘導

シカ捕獲にかかる予算の削減

R 3 - 5 - 3 (R 3 新規事業)

森林環境保全対策シカ捕獲事業

委託料

(鳥獣対策課)

令和3年度 森林保全シカ捕獲事業委託料について

2020.10.14

狩猟による年度別シカ捕獲実績

市 町	年度別捕獲実績(頭)					R1	H27~R1平均
	H27	H28	H29	H30	R1		
① 四万十市	1,482	1,040	941	1,263	816	1,108	
② 四万十町	842	717	633	1,108	615	783	
③ 大豊町	508	358	464	425	448	441	
④ 香美市	676	892	669	799	894	786	
⑤ 安芸市	382	372	399	442	588	437	
合 計	3,890	3,379	3,106	4,037	3,361	3,555	
全県に対する割合	52.7%	49.8%	50.3%	50.4%	50.2%	50.7%	
全 県	7,388	6,788	6,172	8,006	6,690	7,009	

5市町で
50%を捕獲

シカの狩猟期間 (11月15日～3月31日:137日間) のうち、
2月末まで (106日間:狩猟期間のおよそ70%) の捕獲
→ $3,555 \text{頭} \times 70\% \div 2,500 \text{頭}$ について、高知県森林環境税
を活用し、捕獲報償金を狩猟者に支払う委託契約を5市町
と狩猟期までに締結する。

2月末以降の捕獲分や捕獲実績が委託契約分を超えた場
合は、既存事業「シカ個体数調整事業費交付金」により処
理する。

捕獲報償金に関する用件は既存事業と同じ。

500



A



B



C シカ害による森林の持つ公益的機能(土砂流出防備・水源かん養 など)の低下



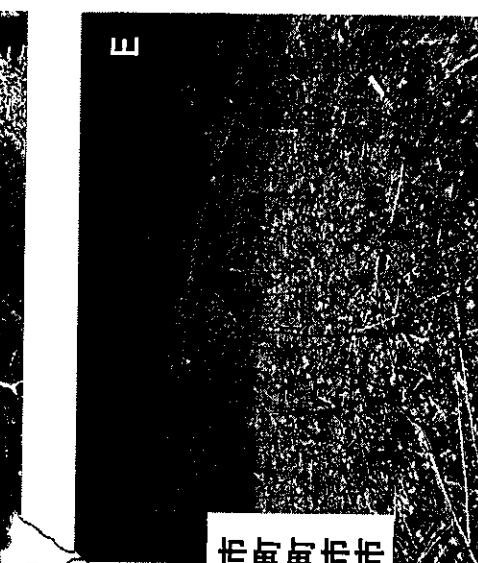
D



E



F



G

- ① 四万十市
- ② 四万十市
- ③ 大豊町
- ④ 香美市
- ⑤ 安芸市

R 2 - 6 (R 3 - 6)

稀少野生植物食害対策事業

(環境共生課)

令和3年度希少野生植物食害防止対策事業

～絶滅危惧種をシカ等の食害から守るため～（平成20年から継続）

- ①全体的に希少野生植物の被害実態調査を実施し、次年度以降の防護柵候補地を計画。
- ②二ホンシカ等の食害被害による緊急性の高い植物に防護柵を設置。
- ③回復状況を確認するモニタリング調査を実施。

①調査

- ①希少種分布状況の把握
 - 食害拡大地域把握（現地聞き取り調査、シカ捕獲頭数など）
 - 希少な野生植物の分布状況（現地聞き取り調査、文献調査・標本データ、モニタリング結果）

②現地調査

希少野生植物の生育状況、食害被害状況確認
 ※シカが牧草による被害が増加
 →生態系の変化により希少種に影響

③防護柵設置候補地の選定

対策が必要な種、優先順位、保護範囲決定

②防護柵設置

設置計画に基づき、保護が必要とされる植物生育エリアに防護柵を設置

- R3計画
- ・四万十町大正佐川山
柵延長：120m
対象種：サメシバネ
 - ・室戸市佐喜浜
柵延長：80m
対象種：林シゴト



- ・室戸市室戸岬町（実験的に実施）
ヤツツクの寄生木にシカが朽木
捕獲シート設置：15本程度
対象種：ヤツツク

③モニタリング

昨年までに設置した防護柵の効果の把握

- ・現地モニタリング（26地点）
- ・植物個体群や防護柵の破損状況把握及び簡易な補修（全48地点）



調査状況

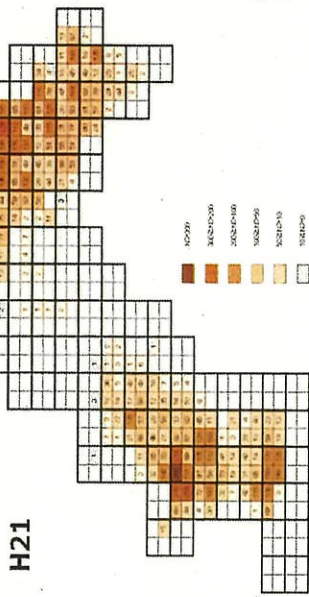


防護柵の補修等の状況

事業概要

- 石鎚山系は吉野川や仁淀川等の源流域にあたり、石鎚国定公園や笹ヶ峰自然環境保全地域など、保全すべき植生や動植物が生息する重要な山岳地域となっている。
- 当地域は県の西部地域や東部地域と比較して、これまでニホンジカによる食害被害が少ない地域だったが、他地域からのシカの侵入やそれに伴う食害の拡大が懸念されるようになった。
- 被害が深刻化している他地域の事例を参考に、石鎚山系の森林生物多様性の喪失を未然に防ぐために、具体的な保護計画(指針)の策定する。

シカ捕獲頭数



県中央部で増加傾向



剣山系では、2000年前後からシカが増え始め、10年程度で植生の壊滅的な被害、土砂流出・山腹崩壊等の被害が拡大

■ 業務内容

現状把握

- ・石鎚山系の地形、植生分布等環境条件、希少野生動植物の生息分布状況、シカの分布や食害等の状況、シカ対策の現状等
- ・シカによる食害が深刻化した他地域の状況に関する資料(環境条件、拡大経過、進行した原因等)
- ・現地踏査(既存情報を補うための調査)
- ・専門家、関係者へのヒアリング

分析

- ・対象範囲を地形、植生その他環境条件、希少野生動植物の分布状況により区域分け(ゾーニング)し、当該区域内で特に保全すべき区域をピックアップする。
- ・シカの分布状況、食害状況、シカの侵入経路から今後の拡大予測(経過、範囲等)
- ・上記予測に対する対策の検討(環境条件、所有形態等も勘案)

保護計画の策定

- (1) 保護指針の策定
関係機関の役割を明確にした保護指針を策定する。
- (2) 保護計画の策定
今後の対策に係る計画案、モニタリングの体制や方法を策定する。

委員会の開催

- (1) 計画策定方針、ヒアリング先、資料収集について
- (2) 保護計画のとりまとめについて
- (3) シンポジウムについて(準備会)

普及啓発支援

- ・普及啓発資料(パンフレット)の作成
- ・シンポジウムの開催
- ・報告書の作成



石鎚山系の森林生物多様性の喪失を未然に防ぐために、各者の役割を明確にした保護指針を策定

R2

R3

R 2 - 7 (R 3 - 7)

環境学習推進事業

(生涯学習課)

環境学習推進事業費 (生涯学習費/生涯学習費)

平成22年度に開催した「全国生涯学習フォーラム高知大会」における「環境フォーラム」での提言を受け、NPO等の団体や学校、青少年団体が連携した自然体験活動や環境学習を推進する。

1. 環境学習推進事業費 R2 4,840千円 R3 予 5,382千円

子どもたちに自然や環境を学ぶ様々な体験をさせるために、指導者の養成・派遣や体験活動に関する情報の提供などに取り組む

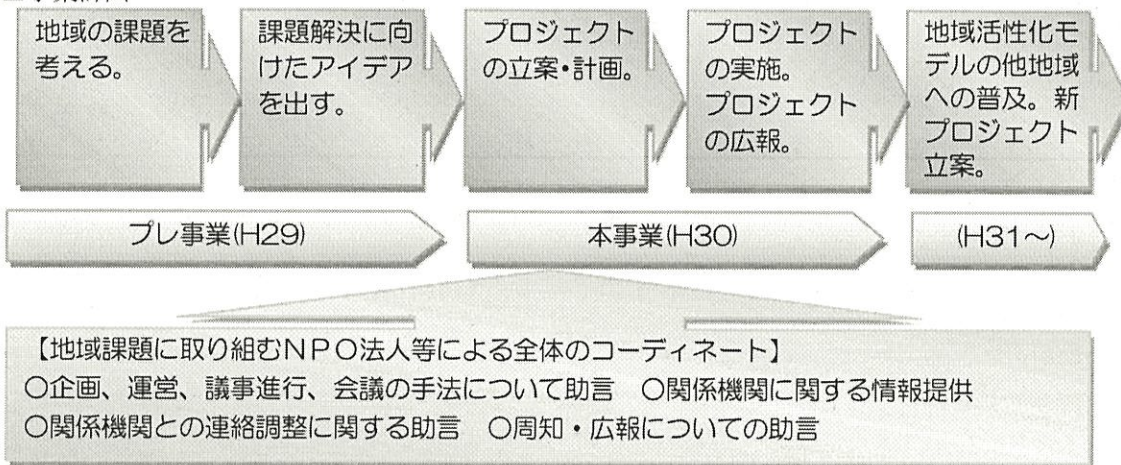
- (1) 子ども地域学習推進事業 R2 994千円 R3 終了廃止
- 子ども地域学習推進事業委託料 R2 960千円

子どもだけの実行委員会を組織し、子どもが主体的に中山間地域の活性化のために、森林や林業などの課題を解決するためのプロセスを体験する。また、地域課題解決プロジェクトを実行することで、市町村の枠を超えた地域コミュニティの活性化と新たなキャリア教育のモデルを構築する。
H28年度に社会教育委員会の提言を受けて事業化し、H29からスタート。

■委託先

NPO法人土佐山アカデミー
随意契約：H29 209千円、H30 960千円

■事業計画



- ・H29 プレ事業として土佐山地区に児童・生徒を集めて2回実施。(平成29年11月、12月)
(参加者6名：高校生5名、小学生1名 満足度94%)

■実績

H29 プレ事業の開催 (2回 11・12月)
参加者：6名 (小学生1名、高校生5名)
満足度：94%

- ・H30 本事業として土佐山地区に小学生から大学生までを集めて6回実施。(平成30年7~12月まで毎月)
小学生から大学生までの参加者：10名
全6回の講座を実施。延べ参加人数：95名。
子どもたちが企画運営イベントの参加者：24名。

	スタッフを含めた参加者	児童・生徒・学生の参加者
参加者：第1回	13名	5名 (小学生1名、高校生3名、大学生1名)
第2回	10名	5名 (小学生1名、高校生1名、大学生3名)

第3回	22名	12名(小学生1名、高校生6名、大学生5名)
第4回	12名	8名(小学生1名、高校生5名、大学生2名)
第5回	8名	4名(小学生1名、高校生2名、大学生1名)
【※自主開催】	12/2	6名(高校生6名)
第6回	24名	9名(小学生1名、高校生6名、大学生2名)
計	95名	49名

満足度：83%

・R1 5回連続講座 対象：小学生から大学生まで14名定員

- 第1回 7/27 オリエンテーション
- 第2回 9/8 ワークショップ
- 第3回 10/19 ワークショップ
- 第4回 11/17 森林総合センター祭キッズフェス出店
- 第5回 12/7 修了証授与

参加者募集(6月26日から7月20日まで)

応募チラシ配布先及び配布枚数

- ・高知県立山田高等学校 365部
- ・香美市立片地小学校 60部
- ・香美市立楠目小学校 200部
- ・香美市立鏡野中学校 385部

- 参加者：第1回9名(小学生6名、大学生3名)
- 第2回9名(小学生6名、大学生3名)
- 第3回8名(小学生5名、大学生3名)
- 第4回11名(小学生8名、大学生3名)
- 第5回12名(小学生9名、大学生3名)

満足度：95%

・R2

・講座のべ参加数40名(スタッフ含む50名)

- 第0回 5名(大学生)
- 第1回 16名(小中高、大学生)
- 第2回 15名(小中高、大学生)
- 動画制作4名(大学生)

・高知県社会教育委員会において事業の報告を行う。

・参加者満足度87%

・活動動画アクセス数

Facebook255回

YouTube63回

・小中高、大学生すべての校種の参加者が揃ったことで、

幅広い意見が出される等、活動の充実に繋がった。

・大学生がすべての運営を担ったことで企画力・運営力を身につけた。

(2) 自然体験型学習事業 R2 3,846千円 R3 予 4,896千円

小学校等の児童・生徒に森林等豊かな自然環境を利用した体験活動を経験する機会を支援し、2泊3日以上での集団宿泊体験を実施する市町村に経費等を補助することで、体験活動・集団活動の充実を図り、子どもの生きる力を育成する。

① 自然体験型学習事業費補助金 R2 3,650千円 R3 予 4,700千円

■沿革

平成28年度から30年度まで、国の事業として長期宿泊体験活動推進事業を実施。平成31年度から森林環境税を活用し、森林環境学習および体験を中心とした学校行事としての自然体験型学習事業に事業変更。

令和2年度から、NPO法人や社会福祉法人、青少年教育団体等(民間団体等)または、市町村等が実施する概ね高校生以下の児童生徒を対象とした1泊2日以上での宿泊体験活動を追加。

■根拠法令等

自然体験活動事業費補助金交付要綱

自然体験活動事業実施要領

自然体験型学習事業利用促進事業実施要領

■宿泊体験事業

宿泊対象事業の内容	2泊3日以上 of 森林に関わる体験活動を含む宿泊体験活動を行う小中学校を設置する市町村に対し経費を補助 1泊2日以上 of 森林に関わる体験活動を含む宿泊体験活動を行う民間団体等に対し経費を補助
補助対象経費	①児童や引率教員等の宿泊費（食費は除く）・バス借上料・保険料 ②活動充実のための経費（外部指導者への謝金、入館料） ③安全対策（看護師の配置等）にかかる経費など ④コロナ対策として、追加で借り上げるバス借り上げ料
補助率	定額

■これまでの実績（長期宿泊体験活動推進事業及び自然体験型学習事業）

年 度	実施校数		参加児童生徒数	
28年度	小学校	6	167	
29年度	小学校	12	184	196
	中学校	1	12	
30年度	小学校	12	169	274
	中学校	7	105	
令和元年度	小学校	10	145	372
	中学校	6	227	
令和2年度	小学校	2	31	51
	中学校	1	20	

■事業実績

	実施校数		参加児童生徒数	実施校（参加人数）
令和元年度 （実績）	小	10	145	足摺岬小（6）・三崎小（8）・下川口小（3）・葉山小（25）・精華小（8）・中央小（15）・片地小（11）・梶原小（19）・三浦小（30）・上分小（20）
	中	6	227	大川筋中（7）・後川中（13）・北陵中（69）・窪川中（98）・葉山中（27）・仁淀川中（13）
令和2年度 （実績）	小	2	31	日下小（19）・片地小（12） 中止した学校 葉山小・中央小・精華小・梶原小・足摺岬小・三崎小・下川口小・上分小・南郷小・三浦小
	中	1	20	日高中（20） 中止した学校 中村西中・中筋中・東中筋中・八東中・仁淀中・葉山中・窪川中
	民間	3	55	高知県青年団協議会（12）・NPO法人GIFT（28）・NPO法人高知市こども劇場（15） 中止した団体 高知県シェアリングネイチャー協会・仁淀川町教育委員会、こうちねっと見守り会議、社会福祉法人ぶらうらんど
令和3年度 （6月末）	小	0		中止した学校 葉山小・精華小・中央小・南郷小・三浦小・梶原小
	中	1		葉山中 中止した学校 窪川中
	民間	0 0企画		

■令和3年度（6月末現在）

	目標	実施希望	中止	実施
学校行事	15校	15校	7校	1校
民間団体等	10団体	6団体（7企画）	0団体	0団体

②利用促進補助金

R2 36千円

R3 予 36千円

■利用促進補助金の概要

自然体験型学習事業期間中に必要な食費について、市町村が生活保護家庭や就学援助家庭の児童・生徒に対し、補助を行う場合（1/3又は2/3）に、県が食費補助（1/3）を実施する。ただし、県の補助1/3の額と、一人当たりの上限額2,000円と比較し、少ない額を補助する。

令和元年度実績：2市町3小中学校 14,000円 11名分
令和2年度実績：1市1小学校 2,000円 4名分

(3) 森林活用指導者育成事業 **新** R3 予 486千円

学校林をはじめとした地域の森林等、豊かな自然環境等を活用し、保幼、小中高の児童生徒を対象に体験を中心とした森林環境教育を推進することのできる人材育成研修を行う。

【背景】

- 学校林を保有する県内小中学校73校（19市町村）中、学校林を利活用している学校数18校（9市町村）にとどまっている。利活用の進まない大きな理由として、教員が必ずしも森林の知識があるわけでもなく、協力できる地域の方がいない、など人材難が挙げられる。
- 高知県社会教育委員会～地域全体で子どもたちの成長を支える社会教育のあり方について～から出された4つの推進方策の柱の1つ『「生活・文化・自然体験の機会」のサポート』より、【生活体験・自然体験型学習事業の充実と人材の育成】が求められている。

【研修対象者】

- 地域学校協働活動参加者、県内体験活動団体支援員、青少年教育施設職員、地域おこし協力隊、教員、地域協働学部学生、一般等

【事業目標】

- 学校林等を活用した除間伐作業の補助、動植物の観察、植林、木登りなどの野遊び等の体験活動を支援できる地域人材を100名以上育成する。（令和3～7年の5年間）

(1) 指導者養成研修等委託料 (H30 終了)

森のようちえんをはじめとした幼少期の子どもを含め青少年向けの自然体験活動プログラムの企画・実施ができる自然体験指導者を養成する研修事業を委託する。

■沿革

平成25年度より自然体験活動の資格を取得するための講座を開催。

平成29年度より受講者の実際の活動に即した自然体験活動企画セミナーに変更。

■事業概要 (委託先、財源、研修実施回数)

委託先：四万十町大正中津川624-1 高知自然学校連絡会 会長 兼松憲一

※県内の自然体験活動や環境学習に関わる38団体から構成される組織

毎年随意契約

財源：環境学習推進事業費

研修：2018年12月8日(土)・9日(日)

■自然体験活動上級指導者養成講座参加者

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
参加人数	19	21	11	12	23	25	111

■自然体験インストラクターの活動事例

体験活動推進事業 講師派遣 (ネイチャーゲーム 講師)、(木工教室 講師)、(竹クラフト講師)

■事務費 (131千円) 内訳

旅費 82千円

需用費 30千円

役務費 19千円

(2) 指導者派遣事業 (旧：体験活動推進事業 H31 から名称変更 R元終了)

子どもの体験活動の機会を増やすため、身近な場所で、豊かな体験活動を提供できる指導者を地域の青少年団体等に派遣する。平成27年度より実施しており、小学校等へ自然体験活動の講師を派遣。PTA行事や参観日等で、子どもだけでなく大人も一緒に自然体験活動に参加することも促進している。

■体験活動の実績 (H29年度)

回数：4 (4団体)、講師派遣 (木工・竹クラフト等)

総参加者：302名 (保護者101名、生徒・児童84名、幼児84名、教員等33名)

■派遣した講師の例

「木工・竹クラフト」、「燻製作り」、「ネイチャーゲーム」

■H30年度

回数6団体、講師派遣 (木工、竹クラフト、ネイチャーゲーム)

総参加者：406名 (児童生徒242名、保護者142名、教職員等22名)

宿毛市立東中学校 平成30年7月12日(木) 10:40~12:30 木工体験

構原学園 平成30年8月6日(月) 13:30~15:30 竹クラフト

江陽小学校 平成30年9月27日(木) 14:00~15:30 木工体験・木のお話・ネイチャーゲーム

具同小学校 平成30年12月1日(土) 13:30~14:15 巨大松ぼっくりを使ったツリー作り

春野中学校 平成31年1月20日(日) 13:20~14:50 竹を使った一輪差し、はし作り

ボーイスカウト高知第8団 平成31年1月27日(日) 10:00~11:30 燻製 (悪天候により中止)

■R元年度

回数5団体、講師派遣 (ネイチャーゲーム、木工、竹クラフト)

総参加者：329名 (児童生徒182名、保護者127名、教職員等20名)

四万十町 令和元年6月9日(日) 9:30~12:00 ネイチャーゲーム 講師1名

本山小学校 令和元年7月14日(日) 9:30~11:30 木工体験 講師2名

具同小学校 令和元年12月7日(土) 13:00~14:15 木工体験 講師1名

江陽小学校 令和元年12月9日(月) 14:00~15:40 ネイチャーゲーム 講師4名

春野中学校 令和2年1月18日(土) 13:20~14:50 竹クラフト 講師3名

R 2 - 8 . 9 (R 3 - 8 . 9)

高校生森林理解事業

高校生後継者育成事業

(高等学校課)

令和2年度事業実績報告書

高知県立橋原高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
1 車両系建設機械技能講習 2 可搬式林業機械特別教育	1 高知県森林技術センターと連携し、「車両系建設機械技能講習」を受講し、将来の林業現場を担う人材育成を図る。 2 高知県森林技術センターと連携し、「可搬式林業機械特別教育」を受講し、将来の林業現場を担う人材育成を図る。	1 車両系建設機械運転技能講習 2 可搬式林業機械特別教育の受講 令和2年8月24日(月)～28日(金)の5日間、高知県森林研修センターで車両系建設機械運転技能講習および可搬式林業機械特別教育を受講した。 受講者:1 農業コース3年生 4名 男子:4名(取得) 修了証発行機関:高知県林業労働力確保支援センター	車両系・可搬式講習の目的としてまず、2年次より農業を学ぶために農業に対する関心や興味を引き出す活動として、また将来の進路(農業従事者、林業従事者)など動機づけとしている。しかし、今年度も農業コース生は、部活動(特に野球部)に多く在籍しており、可搬式の受講者は、0名となった。来年度も今年度同様になると考えられるが、将来の林業従事者育成を目指し実施していきたい。	

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の観点から記入すること。
 (注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。
 (注)3 必要に応じ増頁すること。

令和2年度事業実績報告書

窪川高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
森林環境保全事業費	高知県林業振興・環境部及び高知県森林研修センター(高知県林業労働力確保支援センター)と連携を図り将来の林業技術者育成のため、また専門的資格を取得することにより将来の職業選択の幅を広げることが目的として、車両系建設機械運転技能講習、可搬式林業機械特別教育を実施する。	車両系建設機械運転技能講習、可搬式林業機械特別教育の受講 8月24日(月)～8月28日(金)までの5日間で車両系建設機械運転技能講習を実施した。同じ日程で可搬式林業機械特別教育をおこなった。	講習により、安全な機械の運転方法、林業機械の取り扱いについて学ぶことができたが、限られた時間の中では実践的な技能についてまで学ぶことが難しい。 本校入学生徒減少により受講希望者が減少している。	左記のような課題を克服するため、本講習修了者を対象として、校内において各講習を活かした、実習をおこなった。 本校生徒確保も課題となっている。

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

令和2年度事業実績報告書

事業名	目標	活動内容	課題	備考
<p>森林環境保全事業</p>	<p>高知県や日本の抱える環境問題について、専門機関からの講義を受け、現状を知ることで今後の対策について考える。 また、四万十川流域の環境を調査、保全することで自然の在り方について考える。</p>	<p>森川海学習 [1学期] 7/11-12 黒尊研修(1年生 4人) 講師 Sakabayana Lab. 山下 慎吾 氏</p> <p>6/23 海学習①(2年生 7人) 講師 海辺の自然史研究舎 中地 シュウ 氏 ・礎の生態調査、生物分類</p> <p>[2学期] 9/18-19 海学習② 2年生7人 1年生4人 講師 海辺の自然史研究舎 中地 シュウ 氏 ・礎の生態調査、生物分類 ・海中の生態調査 ・高知県西沿岸部の現状について講義</p> <p>[3学期] 3/11実施 四万十川一斉清掃 1年生 17人 2年生 25人</p> <p>[通年] 環境学探究 (3年生 3人) 四万十川および橋原川の水質調査(毎月1回) (3年 1人 1年 2人)</p>	<p>大雨によって川が増水し、予定していた活動ができなかった。 代替日の設定は、宿泊施設のキャンセル料発生や講師、学校行事との日程調整が難しく、現実的ではない。</p>	<p>コロナ感染症対策のためバスを使用せず学校から徒歩圏内の四万十川周辺を清掃</p>

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、「課題」の観点から記入すること。
 (注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。
 (注)3 必要に応じ増頁すること。

令和2年度事業実績報告書

事業名	目標	活動内容	課題	備考
可搬式林業機械(チェーンソー・刈払機)研修	可搬式林業機械を森林管理において適切に扱う能力は、地域環境の創出を担う高校生にとって必要不可欠な技術である。具体的には、林業に従事するために必要なチェーンソーや刈払機の構造や安全な操作、点検についての知識と技能を習得する。特にチェーンソーについては、本校の演習林実習で最も扱う機械であるため、安全で適切な操作を身に付ける。	可搬式林業機械研修 森林総合科 2年 19名参加 1日目～3日目 (学科) ◇伐木作業・チェーンソー・振動障害及びその予防に関する知識の習得 ◇刈払機に関する知識 ◇関係法令の理解 ◇点検及び整備 (実技) ◇伐木の方法 ◇チェーンソーの操作 ◇刈払機の作業 4～5日目 (実技) ◇チェーンソー及び刈払機の取り扱い技術	2年生は全員が受講し(1名欠席)、可搬式林業機械の知識と技術を習得できた。演習林実習において間伐等を行うため、対象学年全員を受講するよう指導した結果である。特に、学校会場を受講できたことで、移動手段に心配がなくなった。 3年生については定員上限の10名が受講し、無事に修了できた。10名以上の希望者がおり、夏等に卒業した。今回は林業大学校へ進学する生徒以外を募集した。理由として、林業大学校では同じ資格を取得するため重複するたためである。よって、受講する他の生徒への、林業への興味関心を引き出すことに重点を置いた。 新型コロナウイルス感染症対策のため、宿泊せずに日帰りで対応したが、移動手段が課題である。 また、令和4年度以降、今の形態から日程及び受講学年の変更ができないか、検討していきたい。 ※ともに3月中旬に、1・2年生で実施し、早期に林業への興味関心を引き出す。	活動場所: 高知県立森林研修センター 連携団体: 高知県労働力確保支援センター
車両系建設機械運転技能研修(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)	車両系建設機械運転技能講習 森林作業において、重機は重量物を扱う林業において必要不可欠であり、将来的に高性能林業機械の操作にも関係してくる。具体的には、現場で幅広く使用される車両系建設機械の種類や構造、操作について理解を深め、始業前の点検から作業後の保管までが安全かつ確実に実行できる技能を習得する。 資格の取得や継続した学習により、現場での実践に生かせる知識、技術を身に付ける。	車両系建設機械運転技能研修 森林総合科 3年 10名参加 1日目～2日目 (学科) ◇走行・作業に関する装置の構造、取り扱い及び作業に関する知識の習得 ◇運転に必要な一般的事項に関する知識の習得 ◇関係法令の理解 ◇学科試験 (実技) ◇走行の操作技能習得 3～5日目 (実技) ◇走行の操作技能習得 ◇作業のための装置の操作技能習得 ◇実技試験		

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の観点から記入すること。
 (注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。
 (注)3 必要に応じて増頁すること。

令和2年度事業実績報告書

事業名	目標	活動内容	課題	備考
森林環境保全事業 ① 車両系建設機械運転技能講習	森林整備と林業生産に必要な技術を習得し、将来の林業技術者を育成する。また、専門的資格を取得することにより、職業選択の幅を広げる。	令和2年8月3日(月)～8月7日(金) 高知県立幡多農業高等学校及び高知県森林技術センターで車両系建設機械運転技能講習を受講した。(3年生10名) 講師：西原 洋年 氏	資格を取得することで林業従事者を育成することを一つの目標としているが、林業関係へ一人、土木関係へ一人であった。実習等を通して専門職へ興味を持たせることができればより取り組んでいく。	資格取得後、本校体験入学(オープンキャンパス)では、生徒が中学生に、重機の操作を演習しながら説明し、体験学習を実践した。
② 林道の整備および間伐・集材・加工	保安林(水源かん養)である学校演習林の林道整備と間伐・集材・加工を通して、森林環境の保全について体験学習をすることともに、間伐材を有効利用することによって森林環境学習につなげる。	台風など大雨によって削られた路面をバックホウや運搬車などの機械操作を実践しながらの補修、林道にかかると雑草を刈り払い機・チェーンソーなどを使い除去することで、林業機械の実践とともに間伐材の搬出に必要な林道の整備を行う。(12月18日：3年生23名) 間伐、植林作業を行い、間伐材を搬出、製材し木材加工実習の材料とすることで森林環境と木材の有効利用について学習する。(3月24日：1年生14名)	実際の現場で林業機械に触れることのできる実習となるが、間伐ではチェーンソーの台数や時間の関係で全員が伐倒するまでに至っていない。植林作業では、苗木が成長するよう下草刈りなどの保育管理が必要である。今後森林管理や間伐材の有効利用の実践を通して、体的に学ぶ機会を確保したい。	
③ 親子木工教室	小学生と保護者を対象とした木工教室を開催し木のぬくもりにも触れる機会を作り、将来の木材需要の向上につながるよう努力する。	新型コロナウイルス感染症拡大により中止とした。代替として、しいたけ原木の駒打ち体験することでの接種方法や栽培技術について学習する。(3月12日：2年生19名)	昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休校となったため、実習が実施できなかったが、今年度は無事に実施することができた。このように貴重な経験ができたこと、森林環境学習についてもより深く学んでいきたい。	

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。
 (注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。
 (注)3 必要に応じ増頁すること。

令和2年度事業実績報告書

高知県立高知北高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考	
総合探究 「私たちと環境」	高知県の豊かな自然環境を題材とし、森・川・海と結ぶ生態系の成りたちについて学ぶとともに、人の生活と自然の共生について理解する。 【前期(4~9月)】学校の近くを流れる鏡川の水質調査などの野外実習を行い、自然を体感する機会を増やす。また、高知の植生や森林資源の活用・歴史について学び、小物や木彫りの作成に取り組む。さらに、ヤイロチョウの生態等について学習し、森林環境の保全について考え、将来の森林資源活用や自然環境の保全に取り組む姿勢を育成する。	【前期】①オリエンテーション、鏡川散策 5/22(1年男8名・女6名 合計14名) 高知の自然環境と森林についてクイズ形式で授業を行い、半年間の学習の内容を説明した。自然に関する興味や関心についてアンケート調査を行った。興味を持っている生徒が多く、野草や鏡川の生き物、これからの取り組みについて話をしながら活動できた。鏡川河川敷のゴミ拾いのボランティア活動を通して、参加者の交流をはかった。	コロナ禍により授業時間が大幅に減った。		
		② 浦戸湾について、水生生物事前学習5/29(1年男5名・女6名 合計11名) 森林と海のつながり、浦戸湾の特徴や干潟の生態系について学習した。次週の野外活動について、模擬実習を行い、注意事項を説明した。			
		③鏡川水質調査 6/5(1年男5名・女5名 合計10名) 鏡川中流域の水生生物の採集・分類を行い、鏡川の水質について考察した。			
		④ 木彫ペン皿づくり 6/12(1年男5名・女5名、4年女1名 合計11名)、9/11(1年男5名・女5名 合計10名) 高知県の森林資源の活用について学習し、のこぎり・彫刻刀等の身近な木工道具の使用方法を修得しながら、ペン皿を作成した。集中して取り組む生徒が多く、木の香りに触れを楽しんでいた様子であった。	コロナ禍により授業時間が減り、作品を仕上げる時間が少なかった。		
		⑤ 志が島散策 8/18(1年男7名・女6名 合計13名) 浦戸湾衣ヶ島原生林を観察し、森林と海のつながりを実感し環境保全について考えた。天候にも恵まれ、たくさんの生物を観察することができた。	高知県環境活動支援センター 志が島より、講師に三本 健二さん(自然観察指導員)を紹介・樹金負担してもらい、干潟の生物を詳しく観察することができた。大変充実した時間を過ごすことができた。	貸切バス	
		⑥バードカービング実習 5/24(1年男6名・女3名、2年男2名・女3名 合計14名) 指導者として堀田幸生さんをお招きし、県内に自生する季節の木々を材料に野鳥の木彫りを行った。樹皮の肌触りや木のにおいなどを感しながら実習できた。	小刀を使っての作業で、使い慣れない生徒もいたが、全員が作品を仕上げることができた。	指導員依頼	
		⑦橋原町 橋原町の森林資源について 7/10(1年男8名・女6名 合計14名) 橋原町森林組合森林整備課 武田勇希さんをお招きし、「橋原町の森林・林業・環境の取組について」というテーマで講演していただいた。写真を交えわかりやすくお話していただき大変興味深かった。生徒も熱心にメモをとりながら参加できた。	杉やヒノキの枝やチップなども持ってきてくださり、実物を見ながらお話を聞くことでより理解が深まったようだ。実物に加え、森林整備の動画も見せてくださり、職場としての「森林」にも興味を持ってたようだ。	講師依頼	

高知県立高知北高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考	
総合学習 「私たちと環境」	高知県の豊かな自然環境を題材とし、森・川・海と結ぶ生態系の成りたちについて学ぶとともに、人の生活と自然の共生について理解する。 【後期(10~2月)】学校の近くを流れる鏡川のバードウォッチングなどの野外実習を行い、自然を体感する機会を増やす。また、高知の植生や森林資源の活用・歴史について学び、小物や木彫りの作成に取り組む。さらに、ヤイロチョウの生態等について学習し、森林環境の保全について考え、将来の森林資源活用や自然環境の保全に取り組む姿勢を育成する。	【後期】①オリエンテーション、鏡川周辺のゴミ拾い 10/2(1年男5名・女1名、2年男1名・女4名、3年女1名 合計11名) 高知の自然環境と森林についてクイズ形式で授業を行い、半年間の学習の内容を説明した。自然に関する興味や関心についてアンケート調査を行った。興味がある生徒が多く、野草や鏡川の生き物、これからの取り組みについて話をしながら活動できた。前期で行った授業内容なども説明しながら鏡川岸を散策し、ゴミを拾った。			
		②バードカービング実習 10/9(1年男5名・女2名、2年男1名・女2名、3年女1名 合計11名) 指導者として堀田幸生さんをお招きし、県内に自生する季節の木々を材料に野鳥の木彫りを行った。樹皮の肌触りや木のにおいなどを感しながら実習できた。	小刀を使っての作業で、使い慣れない生徒もいたが、全員が作品を仕上げることができた。	指導員依頼	
		③橋原町 橋原町の森林資源について 10/16(1年男5名・女2名、2年男1名・女2名、3年女1名 合計11名) 橋原町森林組合森林整備課 武田勇希さんをお招きし、「橋原町の森林・林業・環境の取組について」というテーマで講演していただいた。写真を交えわかりやすくお話していただき大変興味深かった。生徒も熱心にメモをとりながら参加できた。	実物に加え、森林整備の動画も見せてくださり、職場としての「森林」にも興味を持ってたようだ。	講師依頼	
		④ヤイロチョウの森講演 10/23(1年男3名・女2名、2年男1名・女3名、3年女1名 合計10名) 生態系トラスト協会の中村浩明さんをお招きし、ヤイロチョウの生態について貴重な動画等を視聴しながらお話をうかがった。NHK番組になった映像を見せていただいた。メモを取りながら熱心に話を聴くことができた。	学んだ事を次の学習(バードウォッチング)に繋げていく。	講師依頼	
		⑤木彫ペン皿づくり 11/13(1年男5名・女2名、2年男1名・女4名、4年女1名 合計13名)、1/8(1年男5名・女1名、2年男1名・女4名、4年女1名 合計12名)、1/22(1年男5名・女2名、2年男1名・女2名 合計10名) 高知県の森林資源の活用について学習し、のこぎり・彫刻刀等の身近な木工道具の使用方法を修得しながら、ペン皿を作成した。集中して取り組む生徒が多く、木の香りに触れを楽しんでいた様子であった。	彫る位置を工夫して、スマフォ立てや置きなどにする生徒も見られ、身近な道具を使って作る楽しさを感じていたようだ。		
		⑥鏡川野鳥観察 12/11(1年男3名・女1名、2年男1名・女4名、3年女1名 合計10名) 鏡川中流域で越冬する渡り鳥を観察しながら、鏡川の生態について学習した。講師の先生に双筒鏡の使い方を教えていただくことができた。	前期行事が中止になり、未使用であった講師謝金により、生態系トラスト協会の中村先生を講師に迎えることができた。	指導員依頼	
		⑦牧野植物園の見学 12/18(1年男3名・女2名、2年男1名・女4名、3年女1名 合計11名) 牧野植物園で高知県にみられる森林等の植生について説明し、スケッチを行った。今年はクリスマスフェアやラン展開催期間中に実習することができ、生徒は興味を持って観察できていた。		貸切バス	
		⑧バードゲーム 12/18(1年男3名・女2名、2年男1名・女4名、3年女1名 合計12名) グループでカードゲームに取り組んだ。身近な鳥の生態をゲームを通して覚えることができ、生徒は身の回りの生物についてさらに興味が高まったようだ。	他の生徒との交流も自然に生まれ、「楽しかった」という意見が多かった。		
		高知県の豊かな自然環境を題材とし、森・川・海と結ぶ生態系の成りたちについて学ぶとともに、人の生活と自然の共生について理解する。	半期ごとに受講生が変わるので、森林環境について考えることができる人材をより多く育成できる体制になった。 講師の先生方は本校への理解も深く、クイズ形式や具体物を用いて興味関心が高まる授業をしてください。生徒たちは木や生き物に対する愛情を感じる授業を受けることができ、大変刺激を受けていたようだ。また、貸し切りバスを利用することで、遠方への実習が可能になり、山・川・海との繋がりをより身近に感じられる授業内容になっている。今年度はコロナ禍により中止になる学校行事も多かったが、総合探究の授業は概ね予定通り実施することができた。		

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じて増頁すること。

R2-10 (R3-10)

山の学習支援事業

(林業環境政策課)

高知県森と緑の会とは | 一般の方へ | 企業の方へ | 教育機関の方へ | NPO・ボランティア団体の方へ | イベント情報

山の学習支援事業（学校が申請する事業）

事業の概要	申請から実施までの流れ	申請について	実績報告について
ダウンロード	要望調査	これまでの実施状況	

山の学習支援事業（学校が申請する事業）について

この事業は、高知県の森林環境税を活用して、子どもたちが自然に親しみ、本県の豊かな森林環境について考えるとともに、さまざまな体験活動を通して生きる力と郷土を愛する心を育むことを目的に、学校で行う森林環境学習にかかる経費に対して補助金を交付する事業です。

補助金については、「公益社団法人高知県森と緑の会 山の学習支援事業費補助金交付要綱」または、各教育委員会や各学校に配布している「山の学習支援事業活用ハンドブック（YAMANAVI）」をご参照ください。

 [公益社団法人高知県森と緑の会 山の学習支援事業費補助金交付要綱](#)

山の学習支援事業には、下記の2つのメニューがあります。

(1) 「総合的な学習の時間」等において、年間を通じて森林環境学習を実践する事業

(交付要綱の補助対象事業 第2条(1))

※小・中学校などで「理科」「社会」などの教科や「総合学習の時間」「親子行事」などと組み合わせたプログラムを作成し、事業にかかる経費を学校が申請します。

※このページ（山の学習支援事業（学校が申請する事業））は、こちらのメニューについてです。

(2) 山の一日先生を派遣する事業（交付要綱の補助対象事業 第2条(2)）

※保育園・幼稚園・学校などへ講師を派遣する団体が申請します。

※詳しくは、「山の学習支援事業（山の一日先生派遣）」をご覧ください。

補助金の交付対象

高知県内の小・中・高等学校など

※市町村立学校は、市町村または市町村教育委員会が申請者となります。

※国立・私立学校は、学校が申請者となります。

募集期間

毎年4月～7月

※予算の範囲内で、随時交付決定します。

※予算が余った場合は、2次募集を行います。

事業実施期間

交付決定日～翌年3月15日

※報告書の最終提出期限は、翌年3月15日です。

補助対象となる経費

賃金	事業を行うのに必要な最小限度の額とし、1人1日あたり7,000円以内とする。
報償費	講師謝金などで、1人につき1日9,000円以内とする。
旅費	講師の旅費交通費など ※自家用車を使用する場合は、経済的かつ合理的な経路により距離を算定し、車賃は1キロメートルにつき29円以内とする。
需用費	学習に必要な消耗品（体験学習の材料費、まとめ学習の模造紙・文具など） ※食糧費および賄い材料費は、対象外です。
役務費	ハガキ・切手代など
委託料	学校林の整備など、外部に委託しないとできないこと
使用料および賃借料	バスの賃借料、施設の利用料・入館料など

補助金額

対象となる生徒数によって、下記が上限となります。

50人未満	20万円以内
50人以上100人未満	40万円以内
100人以上200人未満	60万円以内
200人以上300人未満	80万円以内
300人以上	100万円以内

公益社団法人

高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市棧橋通6丁目7番43号

総合保健協会合同庁舎5階

TEL 088-855-3905・FAX 088-855-3906

一般の方へ

企業の方へ

教育機関の方へ

NPO・ボランティア団体の方へ

高知県森と緑の会とは

市町村支部について

会員募集

緑の募金について

事業内容

補助金・助成金

イベント情報

広報誌・印刷物

リンク集

サイトマップ

個人情報保護について

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村名、 学校法人名	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	報告		備考
						事業費	補助金額	
1	室戸市	室戸市	佐喜浜小学校	佐喜浜大好き！ もっと知ろう！ 佐喜浜のこと	13	90,214	90,214	
2			中川内小、中学校	豊かな自然の恵みに感謝しよう	7	63,735	63,735	
3	奈半利町	奈半利町	奈半利中学校	ふるさとの自然を見つめなおそう	8	73,418	73,418	
4			魚梁瀬小学校	植物を観察してみよう	11	83,600	83,600	
5	安芸	馬路村	魚梁瀬中学校	植物を紹介するフォトコンテストを開こう ～森林環境について考えよう～	4	83,600	83,600	
6			井ノ口小学校	自然のすばらしさを知ろう	60	81,080	81,080	
7	安芸市	安芸市	下山小学校	椎茸栽培を体験し、自然の恵みを味わう	7	29,790	29,790	
8			舟入小学校	山の魅力を体感しよう！	36	98,801	98,801	
9	中央東	香美市	山田小学校	ふるさと香美市の自然と人々のくらしについて学ぼう	143	327,052	327,052	
10			楠目小学校	私たちのたから～香美市の山・物部川～	189	426,500	426,500	
11	香美市	香美市	片地小学校	見て、触れて、感じて考えよう。山、川、海、森林の大切さ！	54	194,360	194,360	
12			香長小学校	森林の環境について考え、生命を育む自然の尊さを学ぶ	76	169,195	169,195	
13	香美市	香美市	大宮小学校	～自然のふしぎ発見～	98	254,699	254,699	
14			大板小学校	「郷土を愛し、心身ともにたくましい児童の育成を図る」	30	177,388	177,388	
15	南国市	南国市	鏡野中学校	香美市の森林資源を知り、守り、活用につなげる「物部川水系の源」学習	119	352,000	352,000	
16			大板中学校	持続可能な物部の自然環境を地域と共に守り、再生させる	28	178,514	178,514	
17	高知市	高知市	蔦ヶ池中学校	学校林を活用した森林環境教育	153	508,977	508,977	
18			第六小学校	自然とともに生きるわたしたちのくらしを見つめよう	152	380,643	380,643	
19	高知市	高知市	旭東小学校	森林の役割と山・川・海の働きを考えよう	116	174,600	174,600	
20			初月小学校	森と友だちになろう	131	335,721	335,721	

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村名、 学校法人名	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	報告		備考
						事業費	補助金額	
21			横浜小学校	いのちをみつめて(山・海・川の学習を通して)ー地球のいのちー	62	203,759	203,759	
22			浦戸小学校	「山・海・生物」を通じて、自分たちの地域を見つめなおそう	40	74,860	74,860	
23			五台山小学校	森林と人との関わりを知る	15	102,560	102,560	
24			高須小学校	「自然がはぐくむいのち 草花・樹木を通して自然を考えよう」	98	279,000	279,000	
25	中央東	高知市	一宮小学校	緑豊かな高知の森林を守ろう	62	246,506	246,506	
26			鴨田小学校	高知県の自然環境と森林の現状について学ぶ	362	0	0	
27			一ツ橋小学校	高知の山の森林のよさを見つけよう	65	279,042	279,042	
28			泉野小学校	いずみの森を楽しもう	580	392,110	392,110	
29			横浜新町小学校	いのちをみつめて(森林学習を通して)ー地球のいのちー	89	125,400	125,400	
30			介良潮見台小学校	森林の恵みを生活に生かそう	217	222,287	222,287	
31			横内小学校	森林の恵みを生活に生かそう	326	607,860	607,860	
32			春野西小学校	いのちをみつめて(森林学習を通して)ー地球のいのちー	36	84,000	84,000	
33			横浜中学校	校区の身近な山・川・海のつながり	345	69,382	69,382	
34			義務教育学校行川学園	森林と私たちの暮らしの結びつきを考えよう	52	373,100	373,100	
35		大豊町	おおとよ小学校	緑の大豊町に学ぼう	13	71,667	71,667	
36	嶺北	本山町	本山・吉野小学校	嶺北地域の山の生活(森林学習と炭焼き体験、木工づくりを通して)	21	192,650	192,650	
37		土佐町	土佐町小学校	土佐町森林プロジェクト	22	79,956	79,956	
38		いの町	吾北中学校	吾北の'川(淀川)'と'山'、そして'人'との関わりを体験的に学ぶ～吾北を知り 吾北を体験し 吾北を考える～	25	126,463	126,463	
39	中央西		神谷中学校	自伐型林業体験学習	8	14,000	14,000	

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村名、 学校法人名	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	報告		備考
						事業費	補助金額	
40	中央西	日高村	能津小学校	身近な山に親しもう	19	172,660	172,660	
41			日下小学校	人と自然のつながりを考えよう ～山や森林を通して～	81	341,983	341,983	
42			日高中学校	身近な自然に触れ、森林の役割や私たちの日常生活との関わりについて学ぶ	59	177,526	177,526	
43	須崎	須崎市	吾桑小学校	森林と深く関わりのある仕事に従事している方々のお話や、様々な体験活動を通して、森林の働きや自然環境の大切さを学ぶ	46	49,970	49,970	
44			新荘小学校	わたしたちの新荘川と森林の働き	14	54,245	54,245	
45			南小学校	豊かな森林・自然環境を学び、体験活動や自然観察を通じて生きる力を育む	27	103,165	103,165	
46			米奥小学校	ふるさとの山の恵みを感じよう	16	110,139	110,139	
47			東又小学校	未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる・地域とともに～学校林・ピオトープ～	68	198,102	198,102	
48	幡多	四万十町	中村小学校	～山・川・海 四万十川の源を知ろう！～	244	139,139	139,139	
49			利岡小学校	山と川の命 ふるさとを守ろう	26	42,099	42,099	
50			東中筋小学校	森林体験学習を通して、地域の自然や環境について考え、行動できるようになろう	52	192,263	192,263	
51	幡多	四万十市	西土佐小学校	森林の大切さや地域の基幹産業であった林業の今昔等について理解を深め、山や森の環境を守ろうとする心情を養う	36	88,611	88,611	
52			中筋中学校	学校林を知ろう・活用しよう～地域とともに～	14	5,245	5,245	
53			西土佐中学校	ふるさと西土佐を「知る」「学ぶ」「生きる」	45	142,989	142,989	
54			橋上小学校	ふるさとの山・川のはたらきを知り、海とのつながりを考える	18	150,908	150,908	
55			山奈小学校	「山・川・海」の繋がりを通して、森林の大切さや恵みについて学ぼう」	106	393,303	391,303	

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村名、 学校法人名	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	報告		備考
						事業費	補助金額	
56	幡多	宿毛市	大島小学校	森林体験学習を通して地域の自然や山の恵みについて考えよう	99	388,299	388,299	
57			松田川小学校	山・川・海と人とのつながり	41	111,127	111,127	
58			宿毛中学校	自然の中での体験活動やボランティア活動を通して自主性を涵養し、郷土の自然や環境について理解を深める。	173	81,648	81,648	
59			橋上中学校	川・海・山の結びつきを学び、自然を大切に育てる生徒を育てる	10	87,091	87,091	
60		土佐清水市	下川口小学校	恵み！山・川・海のつながり	14	153,085	148,585	
61			足摺岬小学校	ふるさと足摺岬・松尾の自然から学ぶ	21	88,431	88,431	
62		黒潮町	拳ノ川小学校	森林の与える恵みを知り、森林保護・環境保全の大切さを知る	16	117,800	117,800	
63			三浦小学校	里山を楽しもう	42	170,000	170,000	
64			上川口小学校	森林と自分たちの生活との結びつきに関心をもつ	7	61,815	61,815	
65		学校法人 高知学園	高知小学校	森林や植物について学ぶことで、自然の恵みの大切さを知り、豊かな自然環境を守っていくようとする態度を育てる	86	48,180	48,180	
合計					5,253	11,298,312	11,291,812	

- (注) 1 番号は、別紙4の番号と一致させてください。
 2 「地域区分」欄については、事業実施主体が所在する区域(林業事務所管轄区域)を記入してください。
 3 「市町村名」欄については、事業実施主体が所在する市町村名を記入してください。
 4 必要に応じて、増行、増項等を行ってください。

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	実施団体名	事業概要	参加者数	実績		備考
					事業費	補助金額	
山の一日先生派遣	香美市	情報交流館ネットワーク	「こうち山の日」の制定趣旨に沿って、自然を大切にする心や、木のぬくもり、木と人との関わり、山(森林)を守り育てることの重要性等について、県民の皆さま特に次代を担う子どもたちに伝えることを目的とする。森林環境学習と体験(木工工作、自然体験、ネイチャーゲーム、間伐体験など)を組み合わせて実施し、楽しみながら森林環境への理解を深めるようなプログラムを行う。	1,107	353,137	353,137	
	香美市	(一社)高知県山林協会	「こうち山の日」の宣言(豊かな森林の恵みに感謝し、県民一人ひとりが森林を守る活動に参加、行動することによって、山を守り育て次世代へ引き継ぐ)に基づいた森林環境学習等を実施することで、子どもたちが山や木・自然への関心を高め、自然や森の大切さを学ぶことを目的とし、「山の一日先生」の派遣や県立南宮ヶ峰森林公園を活用し、高知県の木の文化景構想である「木を育てる」「木に親しむ」「木を活かす」の趣旨に則した学習や体験活動を提供する。	1,659	798,576	750,000	
	香南市	体験活動高知	幅広い年齢層に対応した物づくりを行い、森林環境学習に繋げる。自然体験導入としての万華鏡づくり、のこぎりやナイフなど道具を使った工作やバードカードビンゴを約20回実施する。	608	265,386	265,386	
	高知市	ヒラコラボ	・森林と私たちの生活との関わりを知り、森林の問題について何ができるかを考える ・木エクササイズで実際に木に触れることで森への関心を持ってもらい、森林を守り育てる取り組みの一歩になることを目指す ・五感で感じながら楽しみ、考える力と自立を養う	26	167,260	150,760	
合計				3,400	1,584,359	1,519,283	

(注)1 「地域区分」欄については、実施団体が山の一日先生の派遣を行う主たる事業実施区域(林業事務所管轄区域)を記入してください。
2 必要に応じて、増行、増項等をしてください。

山 YAMA NAVI 学

山の学習支援事業 活用ハンドブック

2021.3月発行

84%

小学校・中学校の先生方へ

< もりの小学校3年担任グループ (5)



来年の3年生の総合学習、
どうしましょうか？

身近な自然や環境とか、取り組みやすい
テーマがいいですね！



そういえば、県の森林環境税を使うた
補助金の案内がきていましたね。

それって、山へ行くがでしょう？間伐とか？
植林とか？ハードルが高くないですか？



学校の周りとか、海や川での
学習もかまんみたいですよ。

それやったら、教科ともつなげやすそう
ですね😊



森林のことは詳しくないけど
できるろうか〜？🤔



いろいろ相談にのってくれるみたいですよ😊

そうながです？ほんならちょっと、
この冊子を見てみましょうか。



Aa 高知県林業振興・環境部 林業環境政策課

R 2 - 1 1 (R 3 - 1 1)

森林環境情報誌作成等委託料

(林業環境政策課)

ふれで、知って、まもる、高知のげんきな森の未来。

もりりん

NO.5 2021.2 TAKE FREE

YouTubeチャンネル
もりりんTwitterで
発信中！



たくさんのご応募ありがとうございました！

第1回キャラクター似顔絵コンテスト

受賞作品発表

3月9日(火)から、オーテピア高知図書館にて応募作品展開催！詳細はP11を見てね。

【特選】 みんな、森が大好きぞー！

- 教えて！山の日本生
- 山の日本生と、森をきこう
- 山の日本生の、木割りーくまヨシ
- 森の森をこて何？

【快選なくらし】
木の家が持つ魅力をまじらそう。

第1回キャラクター似顔絵コンテスト受賞作品発表

森からの素敵なおプレゼント

第2回キャラクター似顔絵コンテストを開催します。
お楽しみに！

森林を元気にするために学ぶ号

森からの素敵なおプレゼント

本誌へのご意見、ご感想をお聞かせください。「もりりん」の読者アンケートに答えてくれた方に、素敵なプレゼントをご用意しました。締め切りは2021年3月20日(土)までです。抽選結果は、森林環境情報もりりんTwitterアカウントにて、ペンネームまたはイニシャルで発表いたします。ふるってご応募ください。

アンケート回答・プレゼント応募はこちらから、
または右のハガキでお寄せください。



プレゼント① 北川村温泉 ゆずの宿ペア宿泊券(2食付き)

1箱2名

木の湯もり湯とお部屋、地元食材尽くしのお食事、源泉100%の美肌の湯。緑深い山あいの宿で、ここでしか味わえないひとときをお過ごしませう。

北川村温泉 休日の宿
住/北川村小島121
TEL/0887-30-1526
<https://www.yuzunoyado.net/>



プレゼント② もりりんオリジナルコトシユ

5名

本体/約W260×H220mm
シヨルター部分/約20×1,000mm
小型シヨルターパーツがコトシユ。は、荷物の取り出しやすさが特徴で、もともと自転車レース時に使用されていたアイテム。A5サイズが横に入る便利なサイズ、丈夫でシワになりにくい生地にも、もりりんキャラクターをプリントしました。



プレゼント③ もりりんオリジナルマグカップ

5名

高さ/約95mm 直径/約80mm
特別描き下ろしもりりん、キャラクターイラストを、ぐるりと側面にプリントしたマグカップ。お好きなドリンクを注いで、おうち時間をより楽しく過ごしてください。



似顔絵コンテスト受賞者に
プレゼントで頂く限定グッズを、
特別にカットするチャンスだよ！



こちらに
切手を貼って
投函して下さい。

Post Card

7 8 0 - 8 0 5 0

高知県高知市鶴部1476-11
ロイヤルハイイツ102

「季刊高知」内

もりりん 編集部行

氏名(姓)	性別	性	男・女	年	年齢
住所(姓)					
連絡先(姓)					
ペンネーム					
読者プレゼント希望番号(姓)					
番	裏面のアンケートにご記入がない場合は、無効とさせていただきます。				

※このアンケートで取得した個人情報は、ご本人様の同意がない限り「読者プレゼントの発送」以外に使用いたしません。また、個人情報を第三者に提供することはありません。お答えいただいた内容のうち、個人を特定しない情報で統計データを判断し、今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

もりりんグッズ

「これ、なんというの？」

森を守るために、県民みんなが負担している税金のことです。



Aナラ 自動運転よ、
Bハラー 消費税に決まってるね、
Cカッシー 森林環境税よ。

3月号のグッズこれ、なんの正解はハラーの「食料増産」でした。
※3月号のグッズの正解発表が遅れてしまいましたこと、深くお詫言ひ申し上げます。
【4月のグッズ】これ、どこな？の正解はナラ「消費税増徴」の正解でした。

YouTubeチャンネルもりりんTwitterで発信中!

YouTube 森林環境情報もりりん
https://www.youtube.com/channel/UCYV22LV050t4Z_80T0mMA
Twitter @twitter.com/moririnkochi

高知県森林環境・環境部 林業環境政策課
〒780-0850 高知市丸の内1丁目7番52号 TEL/088-821-4586
E-Mail/030101@ken.pref.kochi.jp
<https://www.pref.kochi.jp/soshiki/030101/>

発行日/2021年2月

制作/編集/クリエイティブ 季刊高知 編集部 With コーディネーター 門田祥也



はちよん
hachiyon.com

「心豊かな横内の子」の育育を校
是とする横内小学校では、森林に
関心を持ち、身近な自然を大切にすることをめざし、森
林環境教育への学校独自の取り組みを進めています。

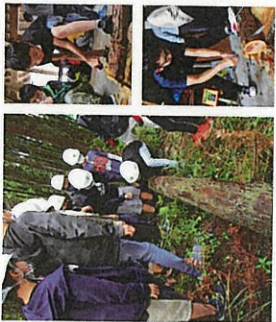
この日の取材の様子はこちらから
YouTubeチャンネル
森林環境情報誌 もりりん



先生のお話が聞けると、みんな、真剣な眼差しで聞き入ります。



この体育館は、木材でできて
います。木材で建物を造るこ
は、山から木を切り出すこ
なればなりません。
茶畑、みなさんにちぎら
け木を切る距離をこまら
いたいと思います。ゴキリ
で木を切ることをやらせ
た。大きな作業なので、まだ山
から運び出す水もたれくら
い重いものからうごことを
実際に体験すること。今日
日、私がお話した森につい
てもっと興味を持ってもら
えたらいいと思います。



翠澄、南富ヶ峰森林公園にて。聞くだけでなく体験するこ
とで理解を深めるみんな。

皆さん、
森を大切にすることからスタート。
四万十市の林業事務所等に勤め、地
域の小中学生に山の大切さを伝えてき
た経験を持つ佐藤先生からは、スライド
資料を用意して、児童たちに日本の山
の現状を伝え、木を伐って使った森を
再生させることが大事です。と語りかけ
ました。
「土壌改善を促す二酸化炭素を吸
取して、酸素をつくる」「生き物のすみか
になる」「家や床、机や鉛筆になる」と、森
の働きを丁寧に説明していき、説明
する佐藤さんは、自分の思いもろかり
伝えました。『身近な、地球温暖化では、
「森の樹木は、炭酸ガスになった中二
酸化炭素を吸収して、酸素をつくりながら
酸素を体(体内)に蓄え、成長します。地
球温暖化の原因となる二酸化炭素の増
加を防ぐ大切なはたらきです。しかし
近年手入れの行き届かない森林が増えて

います。』と説明中。そこから現在の県
内林業の高齢化問題や、次世代を担
う人を育てている高知県立林業大学
校の話へと続きました。
**みんなからの質問が
続出した時間のほし。**
先生の質疑応答では、「木の根は何メ
ートルぐらひ伸びているの?」「なぜ人
工林が多いの?」「大きく大きな木でも
倒れることがあるの?」など、ら名の質
問が質問して、おもしろい質問と
なりました。児童たちは知らないこと
が多々あった様子になりました。有
難うございました。と佐藤さんにお礼
を述べ、「山くも山くも山くも山くも」の
一日先生の授業は終了しました。

座学 教えて!

山の一日先生

～小学校に、山の一日先生がやってきた!～
2020年11月、高知市立横内小学校の体育館で、山の一日先
生である佐藤知幸さんによる授業が行われました。この日、
参加したのは87人の5年生。佐藤先生は、スライドを使いな
がらわかりやすく、森林の働きについて説明してくれました。

今日の山の一日先生
高知県立南富ヶ峰森林公園
指導員/佐藤知幸さん
まずは、みんなに質問を待ってもらったこと
が、授業を行う上での前振りと話す佐藤さ
ん。質問に即答しなければ困ることだとな
ん。今年が最後、あの日はこのことだった
のかと聞いてびっくりしてはいたけれど、みんな
かな。佐藤さんは、産学の地、フィールド
ワークの授業も行っています。



授業の後は、みんなが先生に質問する時間です。

Q 山の一日先生って何!
A 山の日を記念して、
みんなが森を愛するの?
A 森や山に對する意識を高める
ことを目的として、学校ごとの取り
組みにあわせて、森や自然に親しむ
活動をサポートしてきます。県内の
小学校や児童クラブ、中学校などに
行ってお話をしたり、子どもたちと
一緒に自然体験をとりなしたり、
水と土の大切さや、森を守り育てる
ことの大切さについて知ってもら
います。

Q どんな授業をするの?
A 室内での森林学習の他、森の施設に
集まって一緒に楽しみながら、木
を切る体験をするなど、実際に森に
入って二酸化炭素や酸素を体験、間
伐機を利用した木工工作など、教室な
らではできないものがあります。ほ
だ、無理に成りてプログラムを組み
合わせることば
りません。

Q 木はなぜ必要なの?
A 東京にある自然のすばらしさを感
じ、あんなに自然を愛する、守りたい
に思っていることを考えたら、か
げになりません。その結果、自分自身
でいる地域、まわりの人や自然に知
り、関わりがある暮らし
い環境を育みます。

Q 山くも山くも山くも山くも
A 山の種類によって違います。スギや
マツのそう木は、根がまっすぐ下に
伸びていくので、高さ10mの木で
あれば、根は地下3mぐらひまで伸
びていきます。ところが、杉のよう
に、根を横にばねて張り巡らす木も
あります。大きな石が多い場所に植
えられても、大根をしっかりと
まて根を張るこ
とができます。

Q 伐り日本は人工林が多い?
A そうですね。自然林がた山の木を補
うために植えたのが始まりです。昔、
日本は戦争をまてた。戦争はよく
ないことです。戦後は、切り一面が焼
け跡だらけになっていました。そこで、
木を植えて、緑をつくつたりするた
めに、山の木をたくさん伐つて使
います。もちろん、伐れは伐るだけ無
くなると、そのままではいけない
ことなので、人工的に木を植
えたりうわけなんだ。

山の一日先生、森を歩こう

「何がわかるかな？」

野市保育所のらぬ49人が、青島ヶ嶽森林公園に集合しました。この日は、山の一日先生である黒澤光世さんと佐藤茶治さんと一緒に学習展示館へスタートした後、花木の観察日記の森広場まで「フィールドワーク」をしながら列にならびます。

フィールドワークは、カードに描かれた自然物を、見つけた順にマスに穴をぬいていきます。ゲームが、「くもも、きのこ、りのえいにおい、みねのり、るも、くもくするも、のり、だるごきのみごころ、みんなは、見つけたり、しりかんだり、葉っぱにむくごみたり、石をひくりかきごみたり、むくごころ、いりるなをばらばらしてまきました。

さらに、森を歩いた観察日記の描きかたや安全な木の葉を採ったり、葉っぱの香りを嗅いだり、いもはをばらばらし、体験をしなかなは、はかり森に夢中でうら。



あこ木が倒れちゃった

茶色いキノコ見つけたよ



先生8つかなあー



木の葉見つけたー

青島ヶ嶽森林公園

青島ヶ嶽森林公園
青島ヶ嶽山
青島ヶ嶽山は、山や山を
守り育てていく事の重要性に
理解や関心を深めてもらうこと
を目的とした、「山の一日先生」の
受け入れをおこなっています。

今日の山の一日先生

高知県立青島ヶ嶽森林公園
指導員/黒澤光世さん
授業では、観察記録が伝え
るありの木の葉の観察を伝え
ます。その中で、森林組合や
ボランティアの人たちが協力しているこ
とにも、興味をもつてくれる人が増える
ことを目指しています。

指導員/佐藤茶治さん
まずは自然に行ったら楽しい
と感じてほしいです。「大きく
なったらこういいうつろいで働
きたいという子がでてきてくれたら、す
ごく嬉しいです。

山の一日先生、木工ワークショップ

「五感で楽しむ、木の魅力」

木の葉からみるまで、木のことはな
んでも相談にのってくれ、相談がらことホ
ム、木工のつくり教室が開催さ
れました。この日は小学4年生と4才のみな
が、木の香りをくぐりながら、先生
は、山の一日先生の平子真流さんです。

まず、丸太の断面を切り、森の中で木がこの
ように育つとき、また木の成長に太陽の光
が必要なのかなど、自然の仕組みについ
て学びます。その後、ハンマーで削った断面の
かけらを手に取り、好きな形のものを選び、紙
やすりで削っていきます。最初はさうさうと
いた木の表面がだんだんと変化し、手触りも
がくつきりと浮かび上がるほど、丸いこと
になりました。手触りも感じてみるよ、みんなも
すくすく楽しむことができました。

大きな森から生まれた小さな木の香り
やさしい手触りや香り、木目美しさを
ながみみんなの目は輝いていました。



木のいい
香りがするよ

削る木が
面化するの、
面白いね。

この場で
木の年輪が
分かるんだね。

ぶらつとホムMoku

南園市緑ヶ丘5丁目1201-5
「木のなんでも相談」として木
と人、出会いの場が今年2年度に
リニューアル。木工ワークショップの活
動も行う予定です。木に包まれ
た時間で過ごす心地よい時間
が好評の施設です。

今日の山の一日先生

HIRAKO Lab(ヒラコラボ)
木質インストラクター/
平子真流さん



上手に削ることよりも、自分で眼
いと思えば無難な気持ちを引き出
すことが大切。木目模様によ
なつと削りやすいように、出
来上りがいいように削りま
す。削る時は呼吸を止めず、木
質は心を集中させる。木と向き合
いながら、その人の人なりの無
言のうちに、木の年輪が
分かってきます。参加
者が感じたことや思ったことが、自分
らしく活動につながるよう、木目探
つくりを大切にしています。

山の一日先生を呼ぼう！

山の一日先生を派遣する事業には、森林環境税が活用されています。

保育園・幼稚園・学校・保護者会・放課後児童クラブなどの団体でもご利用いただけます。

費用はかかる？
基本料には費用負担はありません。
※広域より、材料費等の一部を負担していただく場合があります。

申し込みの手続きは？
公益社団法人高知県森と緑の会
090-8515-3905
メール info@moritomidori.com
HP https://www.moritomidori.com/
令和2年度は4団体実施しています。

● 青島ヶ嶽森林ネットワーク
0987-52-0087
HP https://www.k-kouryu.net/education/index.html
※ 森林環境税をクレジットするシステムが導入されています。

● 一般社団法人高知県山岳協会
0987-52-9007
HP http://www.kochi-sanrin.jp/business/teacher/index.html
※ 詳しくは、右のURLにある募集要項をご覧ください。

● HIRAKO Lab(ヒラコラボ)
090-9774-6228
(平子真流)
木工ワークショップ「自然体験活動」森林環境教育、林業体験等を展開。

● 自然体験活動
090-2783-9005
(藤田幸志)
自然体験の普及、木の活用、木工やアートワークショップ等を展開。

令和2年度、山の一日先生
授業を通じて、3776名
の子どもたちが森林環境教育
に参加したんですよ！

山の一日先生に
来てほしい子は、
大人の人に相談
してね！



べらぼうと
じいさんの
これかなあ。

R2-13 (R3-14)

こうち山の日県民参加支援

事業委託料

(林業環境政策課)

令和2年度こうち山の日県民参加支援事業委託業務実績報告書

（森林保全ボランティア活動）

実施日	実施場所	実施内容	実施団体名	参加人数			備考
				参加者	スタッフ	計	
5月8日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
5月22日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	14	3	17	
5月25日	高岡郡日高村本郷	森林整備	土佐の森・救援隊	2	3	5	
6月5日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	7	3	10	
6月19日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
6月28日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	5	3	8	
6月29日	高岡郡日高村本郷	森林整備	土佐の森・救援隊	4	3	7	
7月3日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
7月17日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	9	3	12	
7月24日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	5	3	8	
7月31日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	10	3	13	
8月14日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	14	3	17	
8月23日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	7	3	10	
8月28日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
8月31日	高岡郡日高村岩目地	森林整備	土佐の森・救援隊	2	3	5	
9月11日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
9月20日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
9月25日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	8	3	11	
9月28日	高岡郡日高村能津本村	森林整備	土佐の森・救援隊	3	3	6	
10月9日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	4	3	7	
10月18日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	12	3	15	
10月23日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	8	3	11	
10月26日	香南市	森林整備	土佐の森・救援隊	1	3	4	
11月6日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	10	3	13	
11月12日	高岡郡四万十町川口	除伐	朝霧森林倶楽部	53	6	59	
11月13日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	9	3	12	
11月20日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	9	3	12	
11月20日	幡多郡黒潮町入野	植林	幡多林業事務所	28	10	38	
11月22日	高岡郡日高村本郷	森林整備	土佐の森・救援隊	5	2	7	
12月4日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
12月18日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	9	3	12	
12月21日	高岡郡日高村本郷	森林整備	土佐の森・救援隊	3	3	6	
12月27日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	23	3	26	
令和3年							
1月8日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	9	3	12	
1月22日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	10	3	13	
1月25日	高岡郡日高村本郷	森林整備	土佐の森・救援隊	2	2	4	
1月31日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	18	3	21	

2月 5日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	13	3	16	
2月 19日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	16	3	19	
2月 22日	高知市神田	森林整備	土佐の森・救援隊	7	2	9	
2月 27日	高岡郡四万十町川口	植栽等	朝霧森林倶楽部	20	6	26	
2月 28日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	17	3	20	
3月 5日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	15	3	18	
3月 19日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	12	3	15	
3月 28日	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	19	3	22	
3月 29日	高知市	森林整備	土佐の森・救援隊	5	2	7	
9				124	28	152	
46							
計				504	147	651	

※ 開催日毎に、作成した募集パンフレット等、参加者名簿及び活動状況の写真数枚を添付すること。
 なお、添付いただいた写真は活動のPR等のため、パンフレットやホームページ等で利用することがあります。

R2-14 (R3-15)

こうち山の日推進事業費補助金

(林業環境政策課)

高知県森と緑の会とは

一般の方へ

企業の方へ

教育機関の方へ

NPO・ボランティア団体の方へ

イベント情報

こうち山の日推進事業費補助金

事業の概要	申請から実施までの流れ	申請について	審査について
事業実施の留意事項	実績報告について	ダウンロード	これまでの実施状況

お知らせ

2次募集は終了しました。

3次募集がある場合はホームページでお知らせします。

~~令和3年5月28日(金)～令和3年6月30日(水) 消印有効~~

募集期間：~~令和3年4月23日(金)～令和3年5月21日(金) 消印有効~~

 [令和3年度こうち山の日推進事業 実施予定イベント一覧](#)

こうち山の日推進事業とは

“こうち山の日”（11月11日）の制定趣旨である、「豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深め、県民一人ひとりが森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって山を守り育て次代へと引き継いでいく」の普及啓発に取り組むボランティア団体等を支援しています。

高知県の森林環境税を活用して、本事業に適したイベントに要する経費に対して予算の範囲内で補助金を交付します。

こうち山の日

平成15年、県民一人ひとりが山を守り育て、豊かな森林を次代へ引き継ぐことを趣旨として、高知県は「木が並んでいるように見える」11月11日を、「こうち山の日」に制定しました。

森林環境税

平成15年に全国に先駆けて導入した、こうちの森づくりを県民みんなで支えるために、個人・法人とも一律500円を負担いただいている高知県独自の税制度です。

森林のもつ水源かん養や土砂災害の防止などの公益的機能を維持するための間伐や、シカによる食害から森林環境や希少野生植物を守るための対策、森林ボランティアへの安全研修の実施、「こうち山の日」の推進、子どもたちに森林や山への理解や関心を持ってもらう森林環境教育の推進、県産木材の机や椅子の学校への導入などに、森林環境税は活用されています。

事業の概要

募集期間

例年4月下旬から5月下旬

※予算が余った場合は5月下旬以降2次募集があります

事業の要件

- ・自ら企画した事業を県内で実施すること
- ・「こうち山の日」の制定趣旨を理解し、そのPRや普及啓発に取り組むこと
- ・参加者を幅広く公募し、県民の参加が見込めること
- ・当事業において、営利を追求しないこと
- ・要綱・要領・留意事項をよく読み、規定等に従うこと

補助の対象

対象となる事業

「こうち山の日」の制定趣旨に基づいた以下の取組が対象となります。

森づくり	間伐
	環境整備
	植栽
	竹林整備
木使い	木工
	木材普及
森林体験と教育	森林体験
	森林環境学習

対象となる経費

賃金	スタッフの賃金※1（当日指導、先日までの準備、会場設備等）など
報償費	外部講師への謝金※2など
旅費	外部講師やスタッフへの旅費※3、高速代など
需用費※4	消耗品、クラフト体験材料費、チェーンソー等の燃料費、替刃、チラシ印刷代、苗木代など
役員費	傷害保険料、通信運搬料、振込手数料など
委託料※5	印刷物のデザイン、木材の加工、軽土工事費など
使用料および賃借料	車両、会場、機材借り上げなど

※1 賃金は1人1日あたり7,000円以内で、賃金の合計は補助金実績額の2割以内です。

※2 講師は県内在住の外部講師とし、金額は1人1日あたり9,000円以内です。

（ただし、特段の理由がある場合は1人1日あたり30,000円以内）

※3 自家用車を使用する場合、経済的かつ合理的な経路で1kmにつき29円で算定した金額になります。

※4 事業主の資産に成りうる物品等の購入は対象外となります。（チップper、木材搬出機、チェーンソー、刈り払い機など）

※5 活動内容の主たる部分を委託する場合は補助対象外となります。

補助限度額

補助限度額は、25万円です。

※市町村、教育委員会、一部事務組合が実施主体の場合の補助額は1/2となります。

事業実施期間

交付決定された日～翌年1月31日まで

公益社団法人

高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市棧橋通6丁目7番43号

総合保健協会合同庁舎5階

TEL 088-855-3905・FAX 088-855-3906

一般の方へ

企業の方へ

教育機関の方へ

NPO・ボランティア団体の方へ

高知県森と緑の会とは

市町村支部について

会員募集

緑の募金について

事業内容

補助金・助成金

イベント情報

広報誌・印刷物

リンク集

サイトマップ

個人情報保護について

事業実施主体一覧表

No	事業区分	事業実施市町村	実施団体名	事業概要	参加人数	実績		備考
		団体所在地				事業費	補助金額	
1	①-⑧	香美市	情報交流館ネットワーク	森林や自然に関わる情報交流館ネットワークの構成団体の展示を行い、日頃の活動をPRするとともに、展示を見に来られた方に森林の大切さ、森に親しみ、自然環境を大切にする心を育むことを目的とした展示会。	130名	238,984円	236,734円	
		香美市						
2	⑦-②③	高知市	こうち森林救援隊	林内に自生している山桜(20株余り)の周辺の除間伐を進めて、自生の山桜を森のシンボル化していくとともに、稜線付近の広場やそこへと続く山道付近には新たに桜を始めとした観賞木(106株)を植樹することにより、花の開花時期には地域の皆さんが楽しみ集える森づくりを目指してきた。また、近隣の小中学校などにも子どもたちの遊び場や環境学習の場としての活用を促し、情操教育の醸成にも寄与するとともに、来るべき南海大地震に備えるため林内の遊歩道も整備するなど、津波から命を守る美しい里山づくりを目指している。	60名	330,583円	250,000円	
		高知市						
3	⑨-②	大豊町	嶺北ジビエ実行委員会	中止	0名	0円	0円	
		大豊町						
4	⑦-⑧	津野町	船戸活性化委員会「四万十川源流点」	四万十川源流地域の豊かな自然環境の中を地元ガイドとともにウォーキングすることにより、里山の文化と保全活動を理解していただく。満天の星本社駐車場から四万十源流点までの往復16km、四万十源流センターから四万十源流点までの往復8kmの2コースを設定	70名	376,519円	250,000円	
		津野町						
5	⑨-⑦	香美市	一般社団法人 高知県山林協会	中止	0名	0円	0円	
		高知市						
6	⑨-⑦	香美市	一般社団法人 高知県山林協会	中止	0名	0円	0円	
		高知市						
7	⑦-①② ⑨-⑦⑧	高知市	アジロ山の自然と環境を守る会	整備した遊歩道を利用して山に登り、ゆっくり自然散策をして、岩登りやブランコ、落ち葉が層になって腐葉している状況を観察したり、クラフト体験を行う。焼き芋体験で焚き火のありがたさと危険性を学びながら美味しい焼き芋をいただく。	97名	269,685円	250,000円	
		高知市						
8	⑨-⑧	中土佐町	島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会	中止	0名	0円	0円	
		中土佐町						
9	⑦-①	四万十町	公益財団法人 四万十川財団	チェーンソー講習を一度受けただけで山から遠ざかっている人が多く、もう一度山と結びつけ、その後の森林ボランティア参加のきっかけとしたいという目的で、間伐作業を通じてチェーンソーや伐倒技術の正確さと経験値を上げる活動を行った。	17名	296,363円	177,837円	
		四万十町						
10	⑨-⑧	高知市	まきのシェアリングネイチャーの会	中止	0名	0円	0円	
		高知市						
11	⑨-⑦	香美市	南喜ヶ峰トレイルランニング実行委員会	中止	0名	0円	0円	
		香美市						
12	⑨-⑧	香美市	南喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会	中止	0名	0円	0円	
		高知市						
13	⑨-⑦⑧	大豊町	立川体験交流の会	山の暮らしの大切さの再認識(紙芝居で雑木林を大切にし木炭として活用した)今回ははな炭の炭焼き体験をする。山の動物との関わりなどを「森のいきものと私たち」で講演をして戴く。	25名	265,326円	250,000円	
		大豊町						
14	⑨-③	大月町	大月町備長炭生産組合	製炭体験、ウバメガシの植栽、ウォーキングやドングリの収穫体験をすることにより、町内外の方に自然に親んでもらい、山林や地域産業の理解を進めるとともに、地域内外の交流を促進する。	36名	335,771円	238,729円	
		大月町						

No	事業区分	事業実施市町村	実施団体名	事業概要	参加人数	実績		備考
		団体所在地				事業費	補助金額	
15	㊷-⑧	馬路村	魚梁瀬山の案内人クラブ	一般参加者を募集して千本山ツアーを行い、道中の様子や感想などの場面を撮影する。また、「わたしの千本山」をテーマに、広く一般から募った千本山にまつわる画像・動画に加え、案内人や植物の専門家による解説の様子などを盛り込んだ動画を5本程度制作して記録として残す。単なる記録映像ではなく、より身近に感じていただける物として編集し、なかなか現地に足を運べない方や、新型コロナの影響で県外などから来村しにくい情勢でも千本山を楽しんでいただけるよう、クラブのYouTubeチャンネルを立ち上げて掲載する。	22名	190,334円	190,334円	
		馬路村						
16	㊷-⑦	梶原町	高知県森林インストラクター会	カルスト学習館において、カルスト地形の起源、地域特有の動植物について解説を受けたのち、セラピーガイドの解説のもとに天狗高原セラピーロードを散策した。森林浴を兼ねた樹木や植物などの観察を行うことにより森林の役割と重要性について理解を深めることができた。	27名	252,880円	250,000円	
		高知市						
17	㊷-⑧	三原村	三原村ヤーマンズ	三原村キャンプ場に生育している草木、樹木調査と保護活動及び樹名板の設置。大人、子供、村民と村外周辺地域住民、移住者等、森林学習を目的とした交流。キャンプ場施設のゴミ拾い、草刈り、トイレ掃除。	19名	130,812円	123,000円	
		三原村						
18	㊷-⑦⑧	香美市	土佐塩の道保存会	SDGsの基礎を学び、自分たちの暮らす地域の身近な問題や課題を出し合い、未来の目標を作る。塩の道が住遊道として使われていた頃の山の暮らしや、旅人が活用していた携行食を実際にご自分で作って体験することで、当時の不便さと山の自然の豊かさを体験して、生きるための知恵と力を学ぶ。	105名	364,749円	250,000円	
		香美市						
19	㊷-⑦⑧	梶原町	一般社団法人G-company	中止	0名	0円	0円	
		高知市						
20	㊷-⑦⑧	高知市	高知県森林インストラクター会	身近な自然素材を主体的に活用したクリスマスリースづくりを通して、県民のみなさんの森林への親しみを支援することにより、こうち山の日の制定趣旨に基いた森林の持つ働きやその恵みに理解を深めることを目的として開催した。	44名	161,103円	160,000円	
		高知市						
21	㊷-⑦	香美市	株式会社 ラフディップ	中山間地域の課題である放置竹林や鳥獣害などについて、楽しみながら学ぶ体験型イベント。竹を切り整備をする体験を行い、環境保全の大切さを学ぶとともに、切った竹を使って秘密基地やアスレチックを作り、自然に親しみを持ち、森林に関心を持つきっかけとなるような活動を行った。森林体験後のジビエゆうごはんでは、ジビエイクズなど子どもから大人まで楽しみながらジビエについて学べるよう工夫をし、地域の問題や課題を資源と捉えチャンスに変える取り組みなどを美味しいお料理を味わいながら学習する機会とした。	35名	344,128円	250,000円	
		香美市						
合計					687名	3,557,237円	2,876,634円	

活動報告書

番号
1

【団体の概要】

事業名:	情報交流館ネットワーク展示会
団体名:	情報交流館ネットワーク

【活動の概要】

森林や自然に関わる情報交流館ネットワークの構成団体が展示を行い、日頃の活動をPRするとともに、展示を見に来られた方に森林の大切さ、森に親しみ、自然環境を大切にすることを育むことを目的とした展示会。

【プログラム】

実施年月日:	令和2年11月15日(日)～令和2年11月29日(日)	情報交流館なかまたち展
	令和2年12月9日(水)～令和2年12月27日(日)	来館者メッセージ展示期間
場 所:	高知県香美市土佐山田町大平80番地 高知県立森林研修センター情報交流館	
日 程:	9:00～17:00 情報交流館のなかまたち展 来館者に展示を見た後、メッセージを書いてもらう。	
	【情報交流館ネットワーク出展団体】 日本樹木医会高知県支部・高知県緑サポーター会・森ときのこを愛する会・森の学校 木工クラフト倶楽部・情報交流館 知恵袋の会・土佐竹とんぼの会・くらしと炭焼きの会・森の元気！お助け隊・高芝工房・竹林の整備お助け隊・よど川森林救援隊・NPO土佐山アカデミー・奥ものべを楽しむ会・ネイチャークラフト研究会・高知県森林インストラクター会・情報交流館アサギマダラの里・しんかんバンド・木楽会 ・情報交流館なかまたち展終了後に、来館者メッセージに飾り付けをして、館内に展示する。	
募集地区:	県内全域	募集対象: 一般
募集方法:	ホームページ・小学校へのチラシ配布等	参加費等: 無料
参加人数: 大人	49名	子供 79名
スタッフ	2名	講師(外部指導者) 名
○マスコミ等での紹介例(あれば)		
○参加者・スタッフの感想 スタッフの感想: ・例年と違って3密にならない様に、工夫をすることが大変でした。 ・展示パネルに興味を持って、情報交流館ネットワーク団体に入会希望する方もいて、森林等に関する情報の発信ができたと思います。 ・メッセージを書いた方に松ぼっくりツリーキットをプレゼントすることで、家族連れの方がたくさん来て、『松ぼっくりツリーに飾り付けが楽しみです。』と喜んでくれて良かったです。 ・来年は、コロナ対策をして、少しでも木工体験をできたらいいと思います。		
※来場者の感想を別紙で添付しています。		

活動報告書

番号

2

【団体の概要】

事業名: 命まもる美しい里山づくり
 団体名: こうち森林救援隊

【活動の概要】

林内に自生している山桜(20株余り)の周辺の除間伐を進めて、自生の山桜を森のシンボル化していくとともに稜線付近の広場やそこへと続く山道付近には新たに桜を始めとした観賞木(106株)を植樹することにより、花の開花時期には地域の皆さんが楽しみ集えるような森づくりを目指してきた。
 また、近隣の小中学校などにも子どもたちの遊び場や環境学習の場としての活用を促し、情操教育の醸成にも寄与するとともに来るべき南海大地震に備えるため林内の遊歩道も整備するなど、津波から命を守れる美しい里山づくりを目指している。

【プログラム】

実施年月日:	令和2年12月12日(土)		
場 所:	高知市長浜鳥坂山(県道16号線沿いの雑木林)		
日 程:	スケジュール 令和2年12月12日(土) 8:30 鳥坂山駐車場へスタッフ集合 打ち合わせ&準備作業 9:30 受付開始 9:50 開会式 開会挨拶(共催団体・後援団体等の紹介) 10:10 シダレザクラ(6株)山桜(20株)山モミジ(20株)ツツジ(60株)を植樹 11:50 山の日推進事業の標柱を建立 記念撮影 12:00 昼食・休憩 12:40 木工クラフト教室(ストラップ・竹太鼓・竹灯籠など)とチェーンソー講習会も開催 14:20 閉会式 現地解散		
募集地区:	長浜地区を主体とした高知市内全域	募集対象:	50名
募集方法:	チラシの配布とインターネット呼び掛け	参加費等:	無料
参加人数:	大人 22名	子供	9名
	スタッフ 29名	講師(外部指導者)	名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○参加者・スタッフの感想 一般参加者(22名)の内、15名がアンケートに回答。 その回答内容は、植樹そのものを楽しみとして参加された方に加え、防災対策としての取り組みに感心があつて参加された方や林業の再生に繋がることへの期待を抱いてくれている方など様々でした。 また、チェーンソー講習会にも参加できたことが自身のスキルアップに繋がるのでは・・・との想いを抱かれた方もおられ、今後は救援隊のメンバーの一員として活躍したいとの嬉しい意思を表してくれた方も4人にも上った。			



令和3年度こうち山の日推進事業イベント予定一覧 (実施日順)

参加者の募集は森と緑の会HP・フェイスブックに随時掲載します！

※イベント実施日は変更、中止になる場合があります。事前にお問い合わせください。



高知県森と緑の会
ホームページ

こうち山の日推進事業のイベントは、高知県の森林環境税を活用して実施されています

番号	イベント名	イベント実施日	事業内容	参加者数	問い合わせ先
1	まきのでネイチャーゲーム	7月25日(日)	牧野植物園を活用し自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム等を実施	親子10組	まきのでシェアリングネイチャーの会
2	夏休みネイチャーゲーム青空教室	7月29日(木) 8月5日(木) 8月12日(木)	本山町の木曜市にて、自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム並びに木や竹を使ったクラフト教室を実施し、こどもたちの豊かな心や生きる力を育む。	各回20名	南喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会
3	令和3年度ヤイロチョウの日記念イベント	① 8月15日(日) ② 8月16日(月)	ヤイロチョウの日記念イベント ①オンラインでも参加できる「ヤイロチョウの森の動物園がイッダー」 ②オンラインでも参加できる「ヤイロチョウ森を語るトークショー」	各回15名	公益社団法人生態系トラスト協会
4	夏休みネイチャーゲーム青空教室	8月19日(木) 8月26日(木)	本山町の木曜市にて、自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム並びに木や竹を使ったクラフト教室を実施し、こどもたちの豊かな心や生きる力を育む。	各回20名	南喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会
5	風の谷環境の森づくり事業	9月11日(土)	ひきこもり当事者とその家族、および趣旨に賛同する人を対象とし、耕作放棄地に広葉樹を植えて、環境学習の森づくりをする。講師から植樹の仕方や森と海の関係など、環境について指導を受ける。	10名	NPO芸農人
6	林鉄時代の林業技術を当時の柚が見せる 伐木見学&体験in北川村木積	9月26日(日) ※悪天延期日10月3日(日)	・柚による昔と今の伐倒方法の実演・解説 ・柚の伐倒体験 ・樹高と年輪径当てクイズ ・のこぎりによる玉切り体験 ・ニッケイの香り・味体験 ・昼食は地元お母さんのゆず寿司、自生茶など、地元の味も体験	20名	中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会
7	里山整備&親子自然体験推進事業	10月3日(日)	「森のようちえん&自然体験」を開催し、幼児期の子供たちに森の美しさ、自然を守ることの大切さを体感してもらう。自然観察とコギリ体験をし、森の木を切って景観を明るくする。切った木を持ち帰ってクラフト体験を行う。	30名	アジロ山の自然と環境を守る会
8	～森林インストラクターといく森林セラピーロード散策～ 「構原町久保谷ロードセラピー体験&植生観察」開催事業	10月3日(日)予定	「構原町久保谷ロードの野生のこと自然散策」 構原町松原の久保谷ロードで、森林セラピーの講話のあとセラピー(自然)とともに久保谷ロードを散策しながら周辺の自然を観察する。セラピー体験とあわせて、植物やきのこの観察を実施することにより県民の皆さんに森林に親しむ機会を提供するとともに森林の機能に対する理解を広く深めていただく。	20名	高知県森林インストラクター会
9	風の谷環境の森づくり事業	10月11日(月)	ひきこもり当事者とその家族、および趣旨に賛同する人を対象とし、耕作放棄地に広葉樹を植えて、環境学習の森づくりをする。講師から植樹の仕方や森と海の関係など、環境について指導を受ける。	10名	NPO芸農人
10	チノモノ・ヨソノ実践ミーティング ～MAKIWARA&KUSAKARI～	11月6日(土)～7日(日)	県内の農山村地域にとって身近な里山との関りについて学び、夏には草刈りや薪割りの実践を通し、地元青年と移住者で活発な交流を行う。	20名	高知県青年団協議会
11	風の谷環境の森づくり事業	11月13日(土)	ひきこもり当事者とその家族、および趣旨に賛同する人を対象とし、耕作放棄地に広葉樹を植えて、環境学習の森づくりをする。講師から植樹の仕方や森と海の関係など、環境について指導を受ける。	10名	NPO芸農人
12	2021ふなと四万十川源流点ウォーキング	11月13日(土)	ウォーキングの実施 (満天の皇本社駐車場から四万十源流点までの往復16km 四万十源流センターから四万十源流点までの往復8kmの2コースを設定) イベント参加者による植樹	50名	船戸活性化委員会「四万十川源流点」
13	「おもてなし」の心育てる里山づくり	11月13日(土) ※予備日11月27日(土)	禅師峰寺の竹林内や運路道の周辺に桜やツツジ、アジサイなどの観賞木(100株前後)を植樹し、花の開花時期には地域住民の憩いの場として活用してもらうことやお運路さんへの「おもてなしの心」にも繋がる里山づくりを目指す。小物づくりや竹細工等の木工体験も行う。	50名	こうち森林救援隊
14	こうち山の日 森林総合センター祭 キッズフェス	11月21日(日)	・森林や木材等に関連した出展や展示、ワークショップ ・森林センターの自然を活用した自然体験 ・地元の特産品などの出店 ・森の音楽会 など	300名	情報交流館ネットワーク
15	～森林インストラクターと行く樹木観察～ 「室戸岬の亜熱帯植物群落とヤッコソウ観察」開催事業	11月23日(火・祝)	室戸岬周辺(亜熱帯植物群落)及び金剛頂寺(ヤッコソウ)等を散策し、樹木を中心とした植物の特徴を観察するとともに、森林の公益的機能と生態系の循環を学習する。	20名	高知県森林インストラクター会
16	風の谷環境の森づくり事業	12月11日(土)午前 12月11日(土)午後	ひきこもり当事者とその家族、および趣旨に賛同する人を対象とし、土佐ヒノキの間伐材を削り、「マイ箸づくり」をする。焼きベンで名入れをし、掃拭を塗る。	各回10名	NPO芸農人
17	里山整備&親子自然体験推進事業	令和4年1月16日(日)	「森のようちえん&自然体験」を開催し、幼児期の子供たちに森の美しさ、自然を守ることの大切さを体感してもらう。自然散策をして、落ち葉が層になって高まっている状況を観察し自然を満喫して森で拾ったどんぐりなどでクラフト体験を行う。	各回30名	アジロ山の自然と環境を守る会
18	まきのでネイチャーゲーム	令和4年1月16日(日)	牧野植物園を活用し自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム等を実施	親子10組	まきのでシェアリングネイチャーの会

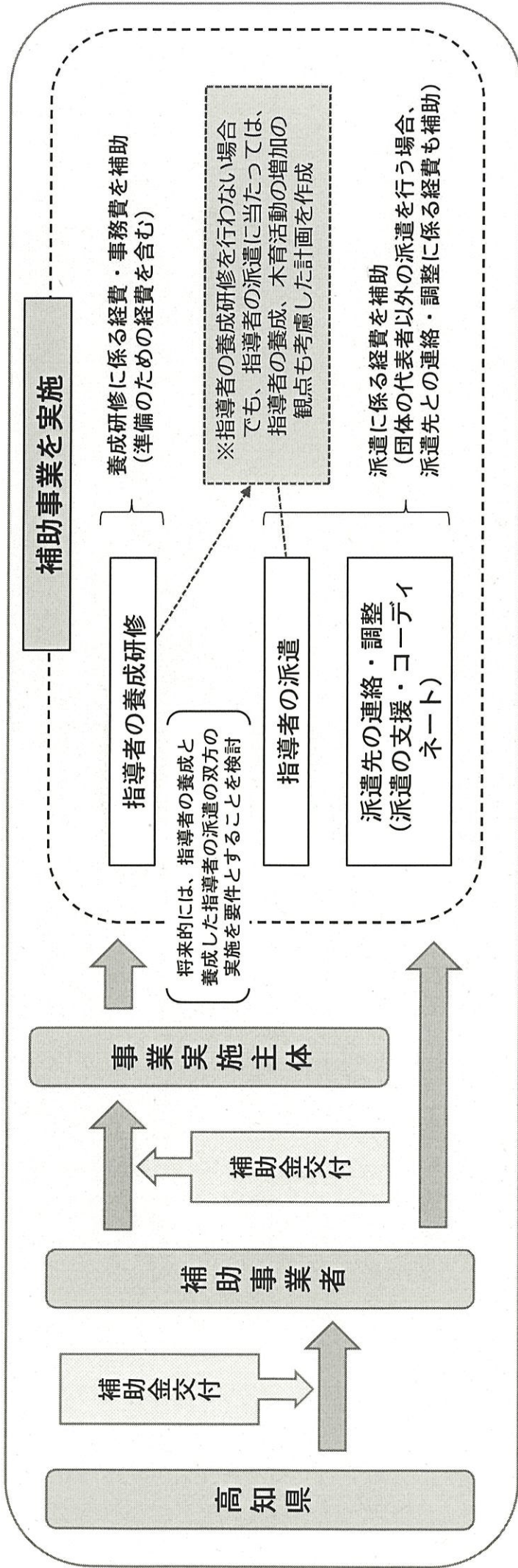
R 2 - 1 5 (R 3 - 1 6)

木育指導員活動支援事業

(林業環境政策課)

木育指導員活動支援事業費補助金の概要

○木に対する親しみや関心を持ってもらうため、幼児等に対して木育を行う木育指導員を養成、派遣又はその支援を目的として実施する事業に対し、補助金を交付する。



○補助先・補助率等

補助先	木育くらぶ Puu
※補助事業者が、直接補助事業を実施することも可能とし、その場合には、附帯事務費に加え、事業に係る補助金を交付する。	
事業実施主体	市町村、市町村教育委員会、一部事務組合、県内に事務局等を置く法人、任意団体
補助率	定額
補助限度額	30万円以内

○補助対象経費

賃金	1人1日6,000円を上限に、スタッフ（調整連絡を含む）への賃金を補助
報償費	1人1日9,000円（特別な事情がある場合は30,000円）を上限に講師等への謝金を補助（県外講師の場合は必要性について申請書に記載）
旅費	スタッフへの旅費を補助（県外講師の場合、県内での旅費のみ対象）
需用費	事業実施に必要な消耗品費、燃料費、印刷製本費などを補助
役務費	活動に係る保険料・郵送料・振込手数料等を補助
委託料	木材の加工・印刷物のデザイン等（活動の主たる部分を委託する場合は対象外）
使用料・賃借料	車両・会場・機材等の使用料・賃借料を補助

R 2 - 1 7

稀少動植物保護対策事業

(普及啓発事業委託料)

(環境共生課)

まもろう 高知家自然の なかまたち

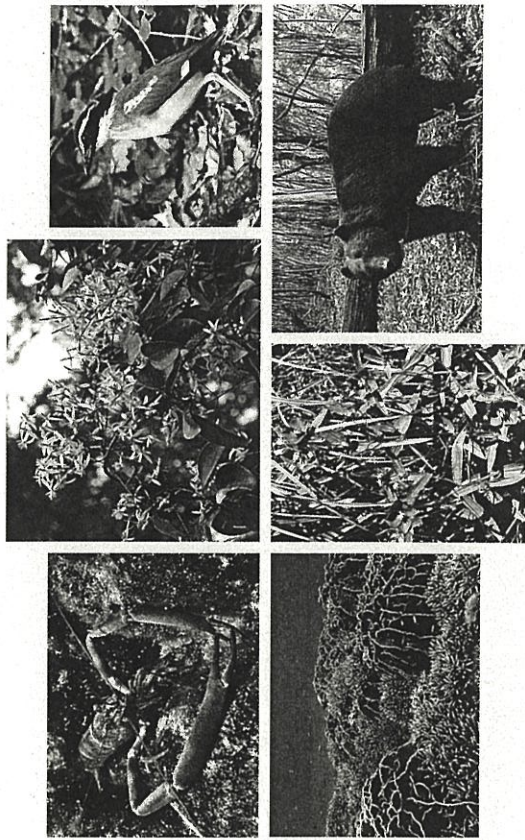


この事業には森林環境税が活用されています。

高知県

林業振興・環境部 環境共生課
780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号
tel: 088-821-4842 fax: 088-821-4530
E-mail: 030701@ken.pref.kochi.lg.jp

令和3(2021)年2月発行



本パンフレットへの写真提供者
伊合行氏、岩瀬文人氏、押岡茂紀氏、高橋弘明氏、竹内久直氏、野村健司氏、
平賀洋之氏、山崎博継氏、依光良三氏、
高知県立牧野植物園、中国四国地方環境事務所土佐清水自然保護官事務所、
認定特定非営利活動法人四国自然史科学研究所

本パンフレットは平成25年度「さがそう、身近な生物多様性フォトコンテスト」の作品も掲載しています

高知の自然と生きものはいまどうなっているの？

高知県は、県土の84%を占める森林や四万十川に代表される清流の数々、黒潮の影響を強く受ける沿岸部など、自然豊かな場所といわれています。

しかし、本県に高知県の自然は「豊か」なんでしょうか？ また、このまま未来にも続いていくといえるのでしょうか？

今、地球上では、かつてないスピードで生きものが絶滅しています。この絶滅には人間の活動も影響しており、そのスピードは、今後、さらに早くなるといわれています。

高知県には、15,000種以上の生きものがいると考えられていますが、生息・生育する環境の変化によって、ツキノワグマなどの動物や、かつて身近にいた昆虫、たくさんの植物が絶滅の淵に立たされています。



カマキリ「アユカガ」(絶滅危惧Ⅱ類)



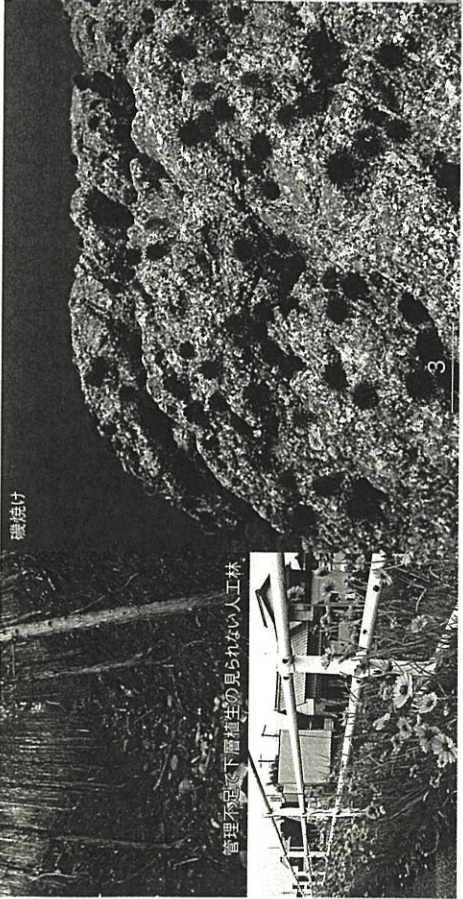
ヒメノボタン(絶滅危惧Ⅱ類)



ニホンウナギ(準絶滅危惧)



ヤイロチヨウ(絶滅危惧Ⅰ類)



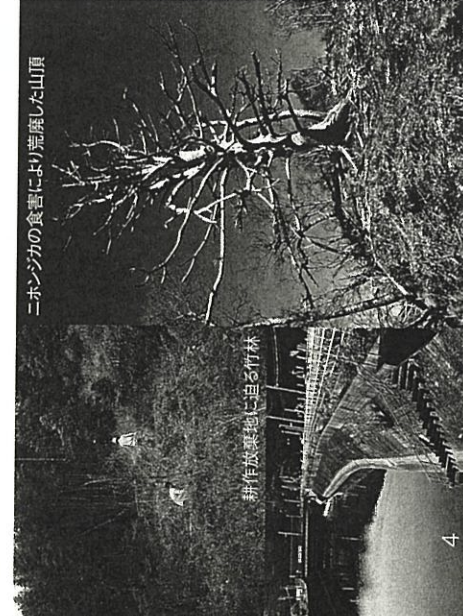
管理不徹底で下層植物の足らない人工林



高知市内で捕獲された特定外来生物のカミツキガメ



生息地が減少している河川は、耕作放棄地につながる竹林



ニホンツグリの被害により荒廃した山頂

まもろう 高知家自然の なかまたち

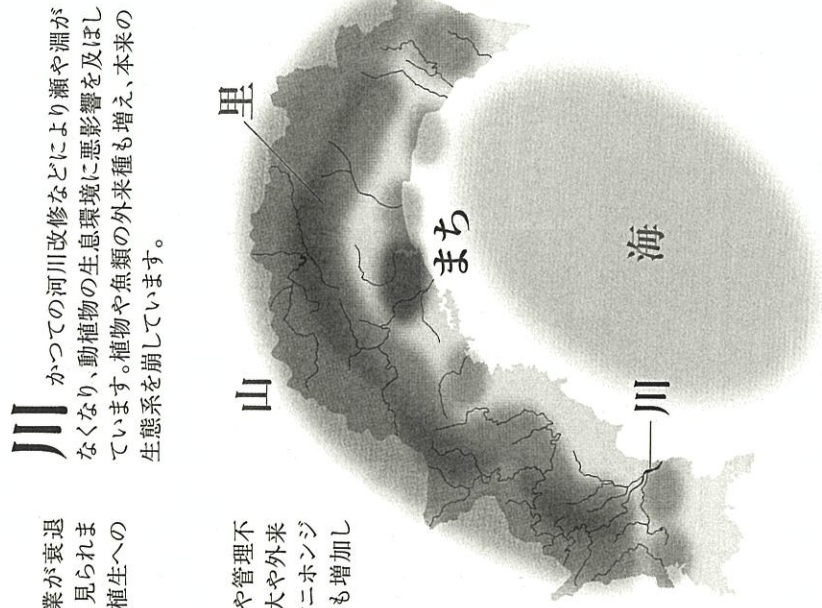
高知の自然のいま

山 人工林が拡大した一方で林業が衰退し、手入れが行き届かない森林が多く見られます。また、ニホンジカの増加などにより植生への影響が大きくなっています。

里 中山間地域では、耕作放棄地や管理不足の田んぼが増え、竹林の異常な拡大や外来種の侵入がみられます。田畑を荒らすニホンジカやニホンザル、イノシシなどの被害も増加しています。

海 温暖化で海水温が上昇し、藻場が消える「磯焼け」が発生しています。また、陸から土砂が運ばれず、砂浜が減ってきています。

まち 土地開発でできた裸地に多くの外来種が定着しています。緑地や水辺も減っており、温室効果ガスの発生源となっています。



R 2 - 1 9 (R 3 - 1 8)

林業大_学校 (短期課程) 研修

業務等委託料

(森づくり推進課)

項目：短期課程の運営等に関すること
●短期課程（環境税）

R2決算

No.	日付	区分	中項目	取扱	小項目	備考
491	10/28	3短ホ	12印刷消耗品	4,500	玉掛ホ	教本 玉掛作業者必携¥1,850*3冊
869	1/15	3短ホ	09保険料	3,432	チェホ	チェンソーボラ1/10-11 @572*6人
918	1/29	3短ホ	09保険料	2,288	玉掛ホ	玉掛けボラ @572*4人
924	1/29	3短ホ	12印刷消耗品	16,200	チェホ	教本 チェンソー作業の安全ナビ¥2,970*6冊
926	1/29	3短ホ	14通信運搬費	1,216	チェホ	教本送料 チェンソー作業の安全ナビ
928	1/29	3短ホ	12印刷消耗品	1,500	玉掛ホ	教本 玉掛作業者必携¥1,850*1冊
930	1/29	3短ホ	12印刷消耗品	6,200	小丸ホ	教本 小型移動式クレーン¥1,705*4冊
933	1/29	3短ホ	12印刷消耗品	12,455	小型車両ホ	教本 小型車両系建設機械運転者教本¥1,370*10冊
935	1/29	3短ホ	14通信運搬費	764	小型車両ホ	教本送料 小型車両系建設機械運転者教本
952	2/5	3短ホ	09保険料	5,148	小型車両ホ	小型車両系ボラ @572*9人
953	2/5	3短ホ	09保険料	2,288	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ @572*4人
985	2/19	3短ホ	02報償費	83,250	チェホ	チェンソーボラ 講師謝金 1/9-11
986	2/19	3短ホ	21旅費報酬	3,737	チェホ	チェンソーボラ 講師謝金 1/9-11
1001	2/19	3短ホ	02報償費	58,500	玉掛ホ	玉掛けボラ 講師謝金 1/23-24
1002	2/19	3短ホ	21旅費報酬	6,310	玉掛ホ	玉掛けボラ 講師謝金 1/23-24
1089	3/17	3短ホ	07借損料(機械)	15,700	小型車両ホ	小型車両系ボラ 実技2/7 BH後方小旋回借上げ
1090	3/17	3短ホ	07借損料(機械)	26,400	玉掛ホ	玉掛けボラ 実技2/11 4tクレーン付トラック借上げ
1091	3/17	3短ホ	15光熱燃料費	1,080	玉掛ホ	玉掛けボラ 実技2/11 軽油代
1092	3/17	3短ホ	07借損料(機械)	26,400	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ 実技2/20 トラック借上げ
1096	3/19	3短ホ	02報償費	58,500	小型車両ホ	小型車両系ボラ 講師謝金 実技2/6-7
1097	3/19	3短ホ	21旅費報酬	27,628	小型車両ホ	小型車両系ボラ 講師謝金 実技2/6-7
1099	3/19	3短ホ	02報償費	36,000	玉掛ホ	玉掛けボラ 講師謝金 2/11
1100	3/19	3短ホ	21旅費報酬	3,145	玉掛ホ	玉掛けボラ 講師謝金 2/11
1102	3/19	3短ホ	02報償費	36,000	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ2/20実技 講師謝金
1103	3/19	3短ホ	21旅費報酬	3,146	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ2/20実技 講師謝金
1105	3/19	3短ホ	02報償費	31,500	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ2/13学科 講師謝金
1106	3/19	3短ホ	21旅費報酬	573	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ2/13学科 講師謝金
1108	3/19	3短ホ	02報償費	31,500	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ2/14学科 講師謝金
1109	3/19	3短ホ	21旅費報酬	1,828	小丸ホ	小型移動式クレーンボラ2/14学科 講師謝金
1143	3/31	3短ホ	14通信運搬費	3,400	ボラ	切手代
			計	510,588		
			消費税	51,058		
			合計	561,646		

コース	内容	定員	受講予約	受講者数・実績	料金	日程
資格取得コース	チェーンソー特別教育(ポランテティア①)	10	10	6	無料	1月9日
資格取得コース	チェーンソー特別教育(ポランテティア①)	10	10	6	無料	1月10日
資格取得コース	チェーンソー特別教育・実技(ポランテティア①)	10	10	6	無料	1月11日
資格取得コース	玉掛け技能講習(ポランテティア③) 学科	10	8	4	無料	1月23日
資格取得コース	玉掛け技能講習(ポランテティア③) 学科	10	8	4	無料	1月24日
資格取得コース	玉掛け技能講習(ポランテティア③) 実技	10	8	4	無料	2月11日
資格取得コース	小型車両系建設機械特別教育(ポランテティア②) 学科	15	10	8	無料	2月6日
資格取得コース	小型車両系建設機械特別教育(ポランテティア②) 実技	15	10	8	無料	2月7日
資格取得コース	小型移動式クレーン運転技能講習(ポランテティア④) 学科	10	4	4	無料	2月13日
資格取得コース	小型移動式クレーン運転技能講習(ポランテティア④) 学科	10	4	4	無料	2月14日
資格取得コース	小型移動式クレーン運転技能講習(ポランテティア④) 実技	10	4	4	無料	2月20日

令和3年度 高知県立林業大学校短期課程（資格取得コース）

ボランティアコース	チェーンソー特別教育	2月11日～2月13日	10	3	伐木等の業務に係る特別教育修了証 (安衛則第36条第8号)	修了者	不要
	小型車両系建設機械特別教育	学科	15	1	特別教育修了証 (安衛則第36条第9号)	修了者	不要
		実技	1月29日 1月30日	1			
	玉掛け技能講習②	学科	10	2	玉掛け技能講習修了証 (高知労働局長登録教育機関登録第63号)	修了試験 合格者	不要
		実技	2月19日～2月20日 2月23日	1			
	小型移動式クレーン運転技能講習②	学科	10	2	小型移動式クレーン運転技能講習修了証 (高知労働局長登録教育機関登録第64号)	修了試験 合格者	不要
		実技	1月15日～1月16日 1月23日	1			

R2-20 (R3-19)

木の香るまちづくり推進事業

(木材産業振興課)

木の香るまづくり推進事業

趣旨

「木の文化具構想」に基づく「木に親しむ」・「木を活かす」活動の一環として、県産材を積極的に利用した公共的施設等の整備に支援を行い、県内外からの観光客等に木の香る環境を提供することや、幼少期から木材に触れあい親しむ体験を通して、木の良さの普及を図る。

公共的施設整備



○補助対象

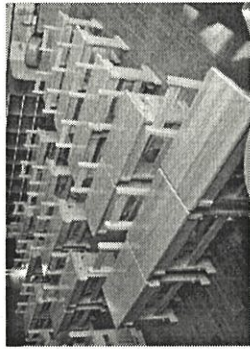
- (1) 玄関、ロビーその他の県民の目に触れる機会が多い公共空間の木質化に係る経費
- (2) 玄関、ロビーその他の県民の目に触れる機会が多い公共空間への木製品の導入経費

○補助率：1/2以内（補助金額25千円以上・一施設当たりの限度額が400万円 一事業者当たりの事業種類別の限度額500万円）

○補助先

- ・市町村、社会福祉法人、医療法人、県内に事務所を置く企業、団体等

学校関連環境整備



○補助対象

- (1) 児童・生徒が利用する木製（県産材）の机、椅子、遊具等の導入経費
- (2) 児童・生徒が利用する保育室、教室等の木質化に係る経費

○補助率：1/2以内（補助金額25千円以上・一施設当たりの額400万円 一事業者当たりの事業種類別の限度額500万円 ただし、小・中学校の木質化は限度額10,000千円）

○補助先

- ・市町村、市町村教育委員会、社会福祉法人、学校法人、財団法人、その他認可外保育施設の設定者

屋外景観施設等整備



○補助対象

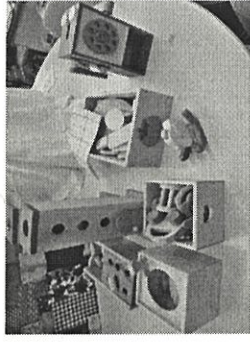
県内の観光地や市街地等PR効果の高い場所において、木製のバス待合所や休憩所、案内看板等屋外の景観施設等の整備に要する経費

○補助率：1/2以内（補助金額50千円以上・一施設当たりの限度額400万円 一事業者当たりの事業種類別の限度額500万円）

○補助先

- ・市町村、団体、バス事業者等

木育推進事業



○補助対象

乳幼児（満4歳の誕生日を迎えるまで）に配布する木製の玩具、食器、家具等の購入経費

○補助率：1/2以内（1人あたり5千円以内）

○補助先

- ・市町村、広域連合、一部事務組合等

令和2年度 木の香るまちづくり推進事業 実績

No	区分	事業主体名	導入施設		申請内容				施設数	利用者数(名)	支出命令額(円)
			施設名称	事業費(円)	補助対象額(円)	補助金(円)	整備内容等				
1	公共	イオンモール株式会社 イオンモール高知	イオンモール高知	13,750,000	11,949,529	4,000,000	木育ひろば床木質化、滑り台	1	895,000	4,000,000	
2	公共	四国旅客鉄道株式会社	JRクレメントイン高知 (ホテル)	19,789,000	19,789,000	4,000,000	木製ルーバー(駐車場外壁)5層150m	1	62,000	4,000,000	
3	学校	香南市(教育委員会)	香我美おれんじ保育所 野市保育所 佐古保育所	397,100	397,100	198,000	香我美おれんじ保育所:ヒノキの丸テーブル 2台 変化いす 2台 野市保育所:スタッキング台セット 2台 佐古保育所:積み木 角テーブル 積み上げ椅子 4台	3	503	198,000	
4	学校	香南市(教育委員会)	夜須幼稚園	211,200	211,200	105,000	パーテーション 4基、おもちゃ棚 2基	1	45	105,000	
5	学校	社会福祉法人 南国市社会福祉協議会	岡豊保育園	167,200	167,200	83,000	ままごとキッチン 大きなおもちゃ箱 2個 木製書架	1	120	83,000	
6	学校	学校法人 やまもも学園	芸術学園幼稚園	384,000	384,000	192,000	3段木製踏み台	1	245	192,000	
7	学校		桜井幼稚園	105,600	105,600	52,000	トイレスリッパ収納箱	1	122	52,000	
8	学校	学校法人 やまもも学園	芸術学園幼稚園	718,300	718,300	359,000	絵本たて 1台、ホール踏み台 3台、 スリッパ収納棚 1台	重複	重複	359,000	
9	学校		桜井幼稚園	295,350	295,350	147,000	幼児用ロッカー5列10名 2台、園児くつ箱 1台 幼児用ロッカー1列2名 2台、スリッパ収納棚 1台 乳児室柵一式 1台	重複	重複	147,000	
10	学校	学校法人 宮地学園	杉の子第2幼稚園	6,600,000	6,600,000	3,300,000	木製複合遊具	1	131	3,300,000	
11	学校	学校法人 若草幼稚園	若草幼稚園	1,207,800	1,207,800	603,000	物品収納棚 Aタイプ 6個 Bタイプ 1個	1	203	603,000	
12	屋外	香南市	香南市営バス停留所	14,245,000	7,094,201	3,547,000	市営バスの停留所(CLT使用)	1	2,160	3,547,000	
13	学校	学校法人 平成学園	認定こども園 ひまわり幼稚園	9,394,000	9,394,000	4,000,000	荷物ロッカーA、荷物ロッカーB	1	240	4,000,000	
14	学校		認定こども園 あとむ幼稚園	2,332,000	2,332,000	1,000,000	布団入れ、保育室ロッカーa、保育室ロッカーb 保育室ロッカーc	1	100	1,000,000	
15	学校	学校法人 森本学園	高須幼稚園	4,037,000	4,037,000	2,018,000	木製遊具、各木製玩具	1	60	2,018,000	
16	学校	学校法人 森本学園	高須幼稚園	418,000	418,000	209,000	木製遊具(鉄棒)	重複	60	209,000	
17	学校	学校法人 土居学園	くるみ幼稚園	990,000	990,000	495,000	遊具収納庫、屋外休憩所、木製フェンス	1	100	425,000	
18	学校	社会福祉法人 大塚福祉協会	吾岡保育園	495,000	495,000	247,000	園児用木製ロッカー 10組	1	30	247,000	
19	学校	社会福祉法人 芳公会	ひまわり保育園	95,700	95,700	47,000	コーナーラウンドチェスト 1台	1	67	47,000	
20	学校	学校法人 高知学園	高知小学校	110,000	100,000	50,000	文庫・新書用低書架一式	1	300	50,000	
小計				75,742,250	66,780,980	24,652,000		19	961,486	24,582,000	
21	屋外	特定NPO法人 土佐さめうら観光協会	道の駅土佐さめうら	5,896,000	5,360,000	2,680,000	ウッドデッキ(屋根付き)	1	60,000	2,680,000	
22	学校	本山町	本山小学校 吉野小学校	1,201,200	1,201,200	600,000	机、椅子セット26組	2	26	600,000	
23	学校	土佐町	土佐町小学校	1,201,200	1,201,200	600,000	机椅子セット24組	1	24	594,000	
小計				8,298,400	7,762,400	3,880,000		4	60050	3874000	
24	公共	仁淀川町	仁淀川町役場本庁舎	500,000	500,000	250,000	ヒノキのテーブル 1台 ヒノキの椅子 4脚 ヒノキの積み木 1セット ヒノキの車 1台	1	240	250,000	
25	木育			495,000	357,500	125,000	玩具(積み木等 0歳児から1歳児25個)	25	125,000		
26	学校	仁淀川町(教育委員会)	池川中学校	496,100	496,100	248,000	教壇6台(3教室×2台)	1	44	248,000	
27	公共		仁淀川町交流センター	7,187,400	6,457,880	3,228,000	本棚等の図書室用備品一式	1	8,000	3,228,000	
28	木育	佐川町		596,750	596,750	298,000	玩具(積み木 0歳児70個)	40	170,000		
29	屋外	越知町	越知のまち小屋	5,199,700	3,945,700	1,972,000	休憩所	1	3,650	1,872,000	
30	木育			200,200	143,000	71,000	玩具(赤ちゃんセット 0歳児20個)	16	57,000		
31	学校	土佐市	戸波児童センター	825,000	825,000	412,000	木製遊具(木製三角ピラミッド) 1台	1	6,000	412,000	
小計				15,500,150	13,321,930	6,604,000		5	18,015	6,362,000	

No	区分	事業主体名	導入施設		申請内容			施設数	利用者数(名)	支出命令額(円)
			施設名称	事業費(円)	補助対象額(円)	補助金(円)	整備内容等			
32	学校	梶原町(教育委員会)	梶原小学校	822,800	822,800	411,000	椅子・机 22組	1	22	411,000
33	学校		梶原こども園	1,584,000	1,584,000	792,000	2人用(幼児)テーブル 40台	1	80	792,000
34	学校		子育て支援センター「カンガルーのおなか」	154,000	154,000	77,000	楕円テーブル	1	500	77,000
35	学校	梶原町(教育委員会)	梶原小学校	149,600	149,600	74,000	椅子・机 4組	重複	4	74,000
36	屋外	梶原町(教育委員会)	木の里文化伝承館「ゆずはら座」	825,000	825,000	412,000	木製のぼり立て設置工事	1	600	355,000
37	学校	梶原町	梶原こども園(重複) 雲の上図書館	2,096,358	2,096,358	1,048,000	木の玉プルー式、木製おもちゃ一式	1	400	1,048,000
38	学校	四万十町(教育委員会)	窪川小学校 十川小学校 昭和小学校 十川中学校	1,862,960	1,862,960	931,000	机・椅子セット43台(窪川小20台、十川小18台、昭和5台) 椅子10台(十川中)	4	53	931,000
39	学校	津野町(教育委員会)	葉山小学校 精華小学校 中央小学校	1,795,200	1,795,200	897,000	学童用机・椅子セット 34組	3	34	897,000
40	木育	須崎市		1,100,000	1,100,000	500,000	玩具(0歳児100個)		86	430,000
41	学校	中土佐町(教育委員会)	久礼保育所	716,320	716,320	358,000	お絵描きテーブル32台、こどもスツール32脚	1	32	352,000
小計				11,106,238	11,106,238	5,500,000		13	1,811	5,367,000
42	木育	大月町		198,000	198,000	99,000	玩具(積み木等 0歳児8個、3歳児12個)		17	84,000
43	屋外	NPO法人 あしずりダディー牧場 ～命の会～	あしずりダディー牧場	8,365,940	8,022,387	4,000,000	木製牧柵(安全防護柵)	1	200	4,000,000
小計				8,563,940	8,220,387	4,099,000		1	217	4084000
合計						44,735,000		42	1,041,579	44,269,000

当初予算額	36,404,000		
9月補正	15,000,000		
予算残	6,669,000	計47	計1,041,579 計44,269,000

公共			41,226,400	38,696,409	11,478,000		4	965,240	11,478,000
学校			40,862,988	40,852,988	19,553,000		33	9,545	19,471,000
屋外			34,531,640	25,247,288	12,611,000		5	66,610	12,454,000
木育			2,589,950	2,395,250	1,093,000		5	184	866,000

令和3年度 木の香るまちづくり推進事業 要望調査結果

令和3年2月4日現在

事務所	区分	事業主体	施設	内容	施設数	人数	実施期間
安芸	学校	安芸市(教育委員会)	土居第2学童保育所	児童用ロッカー 2台 棚 4台 下駄箱 2台	1	40	令和3年4月1日 ～8月31日
中央東	公共	医療法人 豊秋会	香北病院	玄関、待合ホールの木質化 木製椅子、木製雑誌架、絵本たて	1	15000	令和3年5月10日 ～9月30日
	公共	医療法人 瑞洋会	田中整形外科病院	木製椅子、木製カウンター	1	54000	令和3年6月1日 ～11月30日
	公共	社会福祉法人 山寿会	(仮称)就労継続支援a型事業所	エントランスの木質化	1	36000	令和3年5月1日 ～
	学校	社会福祉法人 高知保育センター	のぞみ保育園	園児用ロッカー(10人用×2台)	1	20	令和3年4月1日 ～7月1日
	学校	社会福祉法人 長い坂の会	うららか保育園	高下駄 20足 本棚 3台	1	130	令和3年4月20日 ～
	学校	学校法人 やまもも学園	桜井幼稚園	コーナーラウンド 5台 踏み台 2台	1	160	令和3年8月2日 ～8月27日
	学校		芸術学園幼稚園	屋外プランター 10台 収納棚 11台	1	182	令和3年8月2日 ～8月27日
	学校		さくらんぼ園	壁面収納スペース、吊戸棚	1	12	令和3年8月2日 ～8月27日
	学校	学校法人 平成学園	ひまわり幼稚園	ホール用ステージ、園児用くつ箱、ロッカー	1	300	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
	学校		あとむ幼稚園	ロッカー、くつ箱、机	1	80	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
	学校	社会福祉法人 幸の会	東秦桑寺保育園	木製遊具一式	1	115	令和3年6月1日 ～12月10日
	学校	学校法人 宮地学園	杉の子せと幼稚園	木製複合遊具	1	156	令和3年11月1日 ～令和4年2月28日
	学校	香南市(教育委員会)	香我美おれんじ保育所 赤岡保育所 佐古保育所 吉川みどり保育所 夜須保育所 野市保育所 夜須幼稚園 野市東幼稚園 野市東保育所	園児用玩具、棚、机・椅子 等	9	872	令和3年4月1日 ～9月30日
学校	学校法人 森本学園	高須幼稚園	木製総合遊具(デッキアスレチック)	1	60	令和3年7月1日 ～8月31日	
嶺北	公共	西日本高速道路株式会社 四国支社	高知自動車道 立川PA	軒天仕上げ、休憩スペース、店舗一部、ベビーコーナー、 ルーバーの木質化	1	136,200	令和3年4月1日 ～11月30日
	公共	西日本高速道路リテール株式会社	高知自動車道 立川PA	木製什器各種	1	132,747	令和3年8月10日 ～令和4年3月31日
	公共	土佐町	町内の学校、図書館	可動式本棚 1台	1	100	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
	学校	本山町(教育委員会)	本山小学校、吉野小学校	机・椅子セット26組	2	26	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
	学校	土佐町(教育委員会)	土佐町小学校	机・椅子セット30組	1	30	令和3年8月1日 ～令和4年3月27日
屋外	土佐町	町内の公園、休憩所、バス待合所	木製ベンチ 40脚	28	21,100	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	
中央西	公共	仁淀川町	仁淀川町林業振興センター	ヒノキテーブル、ヒノキ椅子、ヒノキ積み木、ヒノキの車	1	200	令和3年6月1日 ～令和4年3月25日
	木育			玩具(積み木等0～1歳児:25個)		25	令和3年6月1日 ～令和4年3月25日
	木育	越知町(教育委員会)		玩具(赤ちゃんセット 新生児13個)		13	令和3年5月1日 ～令和4年3月31日
	木育	佐川町		玩具 積み木(0歳児 80個)		80	令和3年4月20日 ～令和4年3月31日
	屋外		龍王公園	公園内トイレの建替に伴う木質化(CLT)	1	10800	令和3年8月1日 ～令和4年2月28日
屋外	社会福祉法人 ぶらうらんど	児童発達支援センター ぶらうらんどkouminkanひだか	木製バーゴラ工事	1	3,680	令和3年7月1日 ～10月30日	
須崎	公共	梶原町	梶原町地域活力センター「夢・未来館」	木製机(千年杉使用)	1	7,300	令和3年4月1日 ～12月31日
	学校	梶原町	子育て包括支援センター	こころ動物 10 物語シアター 5 道セット 10 車セット 10 もぐもぐボックス 10 オバケの神経衰弱 10 流し台 4 ままごとキッチン 4 ままごとセット 5	1	120	令和3年4月1日 ～12月31日
	学校		太郎川公園内施設	手押し車 10 遊ぼうコロリ 10 コロコロコロリ 10 物語シアター枠 5 赤ちゃんセット 15 おじゃ箱さん 10 赤ちゃん積み木スペシャル 15	1	1661	
	学校		梶原こども園		1	120	
	学校	梶原町(教育委員会)	梶原小学校	机・椅子セット	1	22	令和3年4月1日 ～令和4年3月25日
	学校	梶原町(教育委員会)	梶原こども園	木製遊具	1	55	令和3年4月1日 ～令和4年3月25日
	学校	四万十町(教育委員会)	七里小学校、米奥小学校、窪川小学校 川口小学校、十川小学校、昭和小学校 十川中学校	机・椅子セット 75台 椅子 8台	7	83	令和3年7月1日 ～令和4年3月31日
	学校	中土佐町(教育委員会)	大野見保育所	建物木工事	1	14	令和3年5月1日 ～令和4年3月31日
	木育	須崎市		玩具(0歳児 100個)		100	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日
幡多	木育	大月町		玩具 積み木等 (0歳児 14個、3歳児 11個)		25	令和3年4月1日 ～令和4年3月30日
合計					74	421,628	
公共					8	381,547	
学校					36	4,258	
屋外					30	35,580	
木育					5	243	